

The Rifles Sports

千の日が、一発に

ここに、ALways OK



ALSO

24時間365日駆けつけ。お家に非常ボタンがある安心を。

HOME **Connect** コネクト

24時間
365日受付



0120-39-2413

サンキュー ツヨイ ミカタ



◀ 詳細はこちらへ



新春挨拶

2026

念頭に際し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員のみなさまにおかれましては、昨年も日本ライフル射撃協会の運営に際し、深いご理解とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

副会長を経て、昨年からは会長を務めさせていただくようになり、ライフル射撃競技の競技会を見学させていただきました。その度に、射撃競技は、静寂のなかでその一瞬にすべてをかける、技術と精神力が試される奥深いスポーツだと感銘を受けております。一発一発に向き合う真摯な選手の姿は、長年さまざまな競技に携わってきました私にとっても、新しいスポーツの魅力を教えてくれるようです。

ライフル射撃競技は、集中力や自己統制力、冷静な判断力を養う競技であり、年齢や性別を問わず生涯にわたり取り組むことができます。安

全管理を徹底した環境のもとで行なわれるため、規律や責任感の重要性を学ぶ機会ともなります。また、学校教育や地域スポーツとして普及すること、青少年の健全育成や世代間交流を促進し、心の安定や社会的つながりの強化に寄与します。競技を通じて培われる精神力と公共意識は、社会全体の成熟にも貢献するはずです。

しかしながら、射撃界を取り巻く状況には、少子高齢化の進行、厳しい法整備の影響を受ける競技環境、射撃場の維持管理など課題が山積しています。一方で、コロナ禍から見えてきたオンライン競技大会という取り組み、eシューティングという新しい枠組みなど、新しい可能性も見えてきております。これまでにとらわれず、次の世代を担う子どもたちが射撃競技に触れる機会を広げていくことは、私たちが担っている重

要な使命です。

また今年愛知県で開催される「第20回アジア競技大会(2026愛知・名古屋) / 2026アジアパラ競技大会」2年後に迫ってきた「ロサンゼルス2028オリンピック・パラリンピック」へと、大きな大会がここから続いていきます。選手一人ひとりが日々の積み重ねを大切にし、自身の力を最大限に発揮できる環境づくりに、協会として全力で取り組んで参ります。

会員のみなさまのお力添えを賜りながら、より多くの方に射撃競技の魅力を知っていただき、スポーツとして、教育として、そして文化として、発展させていく1年にしていきたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。



新春特集

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会



ライフル射撃競技

日程：10月4日（土）～7日（火）

場所：能勢ライフル射撃場（大阪府能勢町 50m/10m/BR/BP）

滋賀県警察学校射撃場（大津市 25m）

まだ暑さの残る2025年10月初旬。スポーツの祭典・滋賀国民スポーツ大会ライフル射撃競技が開催された。

大会名が慣れ親しんだ団体こと国民体育大会から現在の名称となり、愛称も国スポとなって2回目となるが、こちらの名前にもだいぶなじんできたように感じられる。

ライフル射撃競技の会場は大阪府能勢町の能勢ライフル射撃場（センター・ファイア・ピストルのみ県内開催）。地区予選を勝ち抜いた精鋭が集まり、2025年のチャンピオンを争った。天皇杯は徳島県、皇后杯は岐阜県が獲得。連覇がかかった地元滋賀県は惜しくも天皇杯2位で終わった。

滋賀国スポはどんな大会だったのか。選手の声を中心にレポートする。



能勢射場で 滋賀国スポ、開幕

10月4日

大会1日目。射撃選手たちの祭典・国スポが開幕した。今回は滋賀県大会だが、ライフル射撃競技の会場は大阪・能勢町にある能勢ライフル射撃場。隣の京都を超えた先にあるこの射撃場は、選手たちにとってはとつとも馴染み深い場所だ。

10月とは思えない暑さが続いていたが、この日は少し肌寒さを感じる天候。初日とあって会場には多くの人が訪れ、会場は活気に包まれた。

競技はライフル男女伏射、エアライフル男女、ビームライフル女子の3種目。今大会最初の優勝を決めたのは、50m伏射・織田祐宏選手（福井）。昨年



大会1日目。射撃選手たちの祭典・国スポが開幕した。今回は滋賀県大会だが、ライフル射撃競技の会場は大阪・能勢町にある能勢ライフル射撃場。隣の京都を超えた先にあるこの射撃場は、選手たちにとってはとつとも馴染み深い場所だ。

一方、ビームライフル女子では、勝者ではないが、標的に一礼してから射座を離れる和田琴葉選手（秋田県）の姿が印象に残った。「大会のときはいつも、ありがとうございます」という気持ちを込めて礼をしています。初めての国スポでしたが、気持ちよく撃てました」と笑顔で初出場の大会を振り返った。

本日の勝者たち

AR60 **岡田直也**（岡山）

「今回はアジア選手権に行っていた関係で、ブロック予選に出られず、出場する予定だった3姿勢で撃ってくれた選手が、残念ながらブロックを通過できませんでした。そのため県の方針により、エアライフルで本来、代表だった選手の枠を譲っていただく形で私は今大会に出場しています。ですから、今回はこの二人の想いを胸に大会に臨



みました。国スポはチーム戦でいかにポイントをとっていくかが重要になりますので、この1種目で優勝の8ポイントをとろうと挑みました」

AR60W **泰地陽詩**（徳島）

「60発のほうは、課題であった自分のリズムで撃つということができたのではないかと思います。ファイナル、最初は高得点が入ったのですが、後半、



浅い点数になってしまいました。速く撃とうと意識しすぎていたのか、練習不足なのか、タイミングがずれてしまいました。最後はシュートオフになりましたが、これはこの1年間、国際大会に出場して味わってきた経験が生きてきたかと思っています。自分自身でも成長を感じました。これまで教えていただいたコーチや監督方に恩返しができる、すごく嬉しい気持ちです」

BR60WJ **秋吉柚奈**（大分）

「勝因は、勝負どころで粘り強さが出たこと。今回の国スポは私にとつて、最後の大会で、これで射撃から卒業します。3年間、大会で多くの経験を積んできました。この経験は、私がいま目指している動物看護士という夢に必ず生きてくると思っています」



地元ペア、接戦を制す

10月5日

時折雨が降る不安定な天候となった大会2日目。男女ライフル3姿勢、エアライフルミックス、少年の部のエアライフルをはじめとした7

種目が行なわれた。前日優勝した岡田選手が2日目の注目の一戦として挙げたのは、地元滋賀のペア。「師弟コンビで出場しますので、注目ですね」と語ったとおり、この日1番の熱い声援を受け、栄冠を手にした。

本日の勝者たち

R3X20 **清水** しみず **綾乃** あやの (岐阜)

「昨日の伏射競技に続き、今日も優勝



することができてとても嬉しく思っています。国スポ自体には3年ぶりの出場、岐阜県所属としては13年ぶりになります。複雑な緊張感もありつつ、地元の選手として出られる安心感も感じでの出場となりました。普段交流することのない年代とチームメイトとして戦えることは、国スポならではの魅力だと思います」

FR40 **荒井** あらい **陽文** はるふみ (神奈川)

「今日の勝因は日々の練習だと思えます。たくさん練習し、同じコンディションで撃てるよう努力してきました。結果につながって嬉しいです」

AR30WJ **西谷** にししたに **愛実** あいみ (徳島)

「国スポに出ることが目標でした。初出場・初優勝することができて、本当に嬉しいです。リズムよく撃つことができたので、これを続けようと1回1回思いながらやっていました。日頃、練習時間が多いわけではありませんが、先生がしっかり教えてくれて、自分の悪いところはちゃんと指摘してくれるおかげで、自分の射撃ができていくのだと思います」

AR60J **東** ひがし **潤** じゆん (沖縄)

「沖縄県代表として初めて出場していきり射撃ができ、優勝できたことがめちゃくちゃ嬉しいです。これまで全員の舞台で1位をとることを目指して頑張ってきましたが、春の全国選抜は出られず、夏の高校生大会ではいい成績を残すことができませんでした。夏のリベンジだと思って臨んだので、本当に嬉しいです。射撃は一発一発集中してでき、メンタルトレーニングにもなることが魅力。夢はオリンピックです」

BR60J **渡邊** わたなべ **真生** まさき (宮城)

「県の代表ということでプレッシャーがありました。そのなかで全力を出し切り、宮城県にも貢献することができてとても嬉しいです」



AR Mix **村田** むらた **薫美** くろみ **岩崎** いわさき **貴文** たかふみ (滋賀)

「小学6年生で初めて射撃を教えてくださいました先生と組むことができ、しかも開催県である滋賀国スポという特別な舞台と一緒に戦い、優勝することができてとても嬉しく思っています」(村田)

「射撃を続けてくれたので、こういう機会に恵まれました。そのことに感謝しています」(岩崎)

BP60WJ **山崎** やまさき **心寧** こころね (高知)

「ファイナルに入れればいいかなと思っていたんですけど、何発か撃ったところで1位になり、これはいけるかな? と思ったらそのまま1位で終わりました。緊張しすぎて震えていました(笑)」

真夏の暑さが戻るなか、 高校生選手が大活躍

10月6日

大会も早いもので3日目。昨日までの天候が嘘のように暑くなり、「熱中症に注意しましょう」と会場にアナウンスが流れた。確かに、ピーム会場など、観客席部分が黒い幕で覆われていること

もあり、サウナにいるかのように熱い。

この日の種目は6つ。高校生ながら強化指定選手として活躍している石田紬葵選手と、強化指定ジュニアの川村悠夏選手の一戦に注目。戦いを制したのは、一つ年上の石田選手。敗れた川村選手も「昨年優勝した種目を悪い成績で終えてしまい、気持ちを切り替えて臨みました。ファイナルまで緊張しすぎて泣いてしまいましたが、2位が決まった瞬間、一気に気が抜けてしまいました。でも、自分のベストは尽くせたと思います」とはにかんだ笑顔を見せた。

本日の勝者たち

FR3X20 橋爪 一馬 (滋賀)

「昨日の40発競技が2位という悔しい成績で終わり、今日は必ず優勝するという強い気持ちで臨みました。今回2

位となった遠藤雅也選手は、実は私が岐阜県でお世話になっていた頃の教え子。まさか、教え子に負けるわけにはいかないと思って必死で戦い、チームのみなさんと最高の瞬間を共に過ごすことができました」

AR60WJ 石田 紬葵 (岐阜)

「昨年はビームライフルで優勝し、今年にはエアで優勝すると宣言しましたが、それが叶いました。この優勝は高校1年生のときからの夢でもありました。

今年には海外遠征もあり、たくさんの人に名前を知られるようになって、プレッシャーや不安もいっぱいありました。支えてくれた家族、コーチのおかげで夢が叶い、本当に嬉しいです」



AR30J 秋月 快斗 (徳島)

「昨日の60発競技では4位だったので嬉しいです。今後の目標は、次の大会でも優勝することです」

BP60J 永田 涉悟 (長崎)

「今日はメダルがとれたらいいなと思って臨みましたが、ファイナルに残ってからは、しっかりと頑張ろうと強い意志で撃つことができました。でも、0.2点差だったので、ミスをしたらやられてしまうという気持ちでした。なんとかいけど、という気持ちを保つことができたので勝ったのだと思います。中学の卒業式で日本一をとる、と宣言してきましたので、それが叶って嬉しいです」



AP60W 財津 美加 (大分)

「大分県の少年少女がすごく頑張っ



います。それを見て、私も触発され、頑張りたいと思いましたので、結果が出たことはとても嬉しい。ただ内容的にはちよつと。最後のショットもイメージで、内容は課題だらけでした。自分の射撃をずっと続けられるようこれからも頑張っていき、結果でみなさんに恩返しできれば嬉しいです」

BR Mix J 秦 秋吉 柚奈 鳳真路 (大分)

「引退する相方(秋吉柚奈)にとって、これが本当に最後の試合だったので、絶対に優勝するぞという強い気持ちで頑張りました。僕が足を引っ張ってしまった部分もだいたいありますが、それでもいい結果で終わることができたので、とても嬉しいです」(秦)



大会最終日、 静かな会場で堂々たる勝利

10月7日火

残す種目はエ

アビストル男子のみ。多くの選手、チームが帰路につき、静かな最終日を迎えた。

最後のこの一戦に、昨年暮れに開催された日本トルコ親善射撃競技大会でパリ・オリンピック銅メダリス

トのユスフ・ディケチ選手に勝った中山惇之丞選手が登場。会場には父・正浩さん、母・幸恵さんの姿もあった。「家では真剣に鍛える姿など見たことがないので、驚いています。5人きょうだいの4番目なんです、マイペースで物静かな子です」とご両親。息子の勇姿に目を細めた。



本日の勝者たち

A P 60
中山 惇之丞 (岡山)

「試射があまりによすぎました。そのため、この調子でいけばという思いが出てきてしまい、本射が始まると緊張で少し震えてしまいました。そこかなんとか気持ち落ち着かせることができたのがよかったです。ファイナルに関しては、9月の合宿で、ファイナルでの意識の持ち方など、ファイナル練習を積んだことが今回につながった気がします。ここからまた試合が続くので、コンディションを落とさず、いい記録、いい点数を維持しながら頑張っていきたいと思っています」



今大会、最年長優勝

織田 祐宏 選手 60歳 (福井)

住職で、教員という顔を持つ。「もともと美術や写真、映像の研究をしています。現在も教員として美術を教えています。写真でも賞などをいただいていた」

「狩猟の免許もとったのですが、宗教上、無益な殺生というのはやはりよろしくなく、いろいろ調べたところ、自宅の近所

PEOPLE

にライフル射撃場があると知り、そこからライフルを始めました」
37歳のときだったという。以来、インターネットと本などを利用して、独学で技術を身につけた。
「生徒にも応援をもらって送り出されました」
連覇達成で、胸を張って学校に戻ることだろう。



FROM 滋賀国スポ TO 青森国スポ



佐賀から滋賀へとつながってきた国スポのバトン。2026年は遠く東北の大地に飛び、青森県で開催される。

愛称は「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」。ここには、青い空、青い海と湖、山々といった、美しい自然に恵まれた青森県を意味しているという。

スローガンは「翔ける未来へ縄文の風に乗って」。青森県には縄文時代の遺跡が数多く残されている。古を感じられる大地から、新たな歴史と感動を発信し、未来につなげていきたいという想いが込められている。

会期は2026年9月3日から。

会場は弘前市運動公園運動広場特設ライフル射撃場と、青森市内の青森県警察学校射撃場(25m)。非常に立地のいいところとなる。ぜひ、この機会に会場へ足を運び、試合を観戦してほしい。

ライブで競技の魅力を発信

滋賀国スポでは、会場にこられない人、見逃した人のために、ライブ配信を実施した。射撃競技では、日本ライフル協会の成山悟史・常務理事と、アナウンサーでパラ射撃アスリートでもある辻尾玲奈さんが担当。

「交通事故にあった5年前まで、MCやナレーターの仕事をしてきましたが、実況は今回が初めて。少し不安はありましたが、同じ射撃選手だからこそできる、選手目線で射撃の魅力を伝えたいという思いで引き受けました」と辻尾さん。いざ、配信が始まると、思いがあふれ

て言葉が次から次への飛びだし、止まらなかつたとか。

「多くの刺激を受け、新記録誕生の瞬間にも立ち会ったことができた4日間でした。選手の勇姿を目に焼き付け、自分の活動にもしっかりつながっていきたいと思っています」と、4日間を振り返った。



辻尾 玲奈さん



京都新聞社提供

山田聡子選手、開会式で選手宣誓

大会運営サイドから

人材集めと環境整備に奔走

滋賀県ライフル射撃協会

理事長

吉田 義行
よしだ よしゆき

大会運営に携わるようになったのは、3年ほど前からです。それまでただ射撃を楽しんでいるだけでしたので、用具検査のやりかたからレクチャーいただくことから始まりました。

まず直面したのは人手不足。役員など、大会運営にはたくさんのお手が必要で、人手が足りなければ、成り立たない。どうしたらいいのか、どなたに連絡するといったの。教えを受けながら、人材確保に奔走し



ました。恥ずかしながらどんな大会にしたいかなど考える余裕はなく、体制を整えることで精いっぱいでした。

特に厳しかったのは、昨年のリハーサル大会。大会運営が心掛けなければならないのは選手が100%のパフォーマンスをだせるように環境を整えること。しかしながら、猛暑で体調を崩す選手もいて、環境の見直しを図る必要に迫られました。

リハ反省の見直し諸改善の甲斐あって、大会新・日本新が複数誕生し、嬉しく思っております。

滋賀国スポを感じてもらおうかと心がけた

滋賀県国スポ・障スポ大会局

競技運営室 県運営競技係主査

佐藤 真哉
さとう しんや

国スポのライフル射撃担当となり、2年半になりました。前任者からの引き継ぎで、大会準備はある程度進んでいたのですが、種目の英語表記すらわからない状況からのスタートでした。

滋賀国スポとうたっていますが、射撃競技の場合、会場は大阪府が所有する射撃場です。そのため、例えば標的のメンテナンス



ひとつとってもどこが負担するのかが、調整が必要でした。

さらに、訪れた人たちにいかに『滋賀』の雰囲気を感じていただくか。サービスを提供できるか、そこも私が取り組んできた課題でした。

開催中、電気系統のトラブルなどありましたが、関係者のご協力のおかげで試合に支障をきたすことなく、無事に大会を終えることができました。感謝申し上げます。

少年男子

10m エアライフル 60 (AR60J)

1位	東 潤 (沖縄)	610.3	247.2
2位	奥村 壮真 (滋賀)	620.0	245.2
3位	片桐 大河 (大分)	613.0	220.9
本選通過点数	1位: 620.0	8位: 609.7	

10m エアライフル 30 (AR30J)

1位	秋月 快斗 (徳島)	309.9	246.5
2位	野口 雄吏 (佐賀)	310.3	242.5
3位	片桐 大河 (大分)	307.3	221.9
本選通過点数	1位: 310.3	8位: 305.9	

ビームライフル (BR60J)

1位	渡邊 真生 (宮城)	619.5	248.9
2位	河添 碧海 (東京)	621.8	248.6
3位	竹内 大樹 (埼玉)	620.4	228.0
本選通過点数	1位: 622.8	8位: 619.5	

ビームピストル (BP60J)

1位	永田 涉悟 (長崎)	547	230.8
2位	永田 伊吹 (滋賀)	537	228.7
3位	野村 一生 (大分)	538	210.5
本選通過点数	1位: 562	8位: 537	
◆大会タイ/	562 (本選 一瀬蒼大・埼玉)		

少年女子

10m エアライフル 60 (AR60WJ)

1位	石田 紬葵 (岐阜)	626.3	248.1
2位	川村 悠夏 (高知)	616.8	245.2
3位	伊集 愛姫 (沖縄)	617.2	225.5
本選通過点数	1位: 626.3	8位: 616.8	
◆大会新/	626.3 (本選 石田紬葵)、		
	625.9 (本選 西谷愛実・徳島)		

10m エアライフル 30 (AR30WJ)

1位	西谷 愛実 (徳島)	308.1	248.6
2位	石田 紬葵 (岐阜)	312.9	247.9
3位	伊集 愛姫 (沖縄)	306.9	224.0
本選通過点数	1位: 312.9	8位: 306.1	
◆日本新・大会新/	312.9 (本選 石田紬葵)、		
	312.5 (本選 菅波美結・埼玉)		
◆日本タイ・大会タイ/	310.0 (本選 森保詩乃・長崎)		

ビームライフル (BR60WJ)

1位	秋吉 柚奈 (大分)	629.7	252.5
2位	青木 璃乃 (長崎)	629.0	252.0
3位	馬場真奈佳 (佐賀)	625.1	228.7
本選通過点数	1位: 629.7	8位: 624.9	

ビームピストル (BP60WJ)

1位	山崎 心寧 (高知)	545	230.1
2位	有本 雅歩 (鳥取)	563	229.2
3位	三浦 寿花 (秋田)	552	205.9
本選通過点数	1位: 563	8位: 528	
◆日本タイ・大会タイ/	563 (本選 有本雅歩)		

MIX成年

10m エアライフル MIX (ARMix)

1位	滋賀 (村田薫美/岩崎貴文)	625.0	17
2位	福井 (三浦莉桜/大塩勇斗)	628.3	15
3位	徳島 (泰地陽詩/戸陽翔)	623.9	16
◆大会新/	628.3 (本選 福井)		

MIX少年

ビームライフル MIX (BRMix)

1位	大分 (秋吉柚奈/秦鳳真路)	627.8
2位	徳島 (堀江ここ菜/岸本陽尊)	627.6
3位	東京 (桐山絢渚/河添碧海)	627.4

競技別総合成績

天皇杯 (男女総合成績)

1位	徳島	89
2位	滋賀	80
3位	岐阜	75

皇后杯 (女子総合成績)

1位	岐阜	46
2位	徳島	44
3位	高知	32



10m エアライフル 30- 少年男子



10 エアライフル 60- 少年女子



ビームライフル MIX 少年



ビームライフル - 少年男子



10m エアライフル 30- 少年女子



天皇杯



ビームピストル - 少年男子



ビームライフル - 少年女子



皇后杯



RESULTS

成年男子

50m ライフル3姿勢 (FR3X20)

1位 橋爪 一馬 (滋賀) 587 449.8
 2位 遠藤 雅也 (岐阜) 582 447.0
 3位 荒井 陽文 (神奈川) 573 435.5
 本選通過点数 1位: 587 8位: 568
 ◆大会新 / 587点 (本選 橋爪一馬)

50m ライフル立射 (FR40)

1位 荒井 陽文 (神奈川) 379
 2位 橋爪 一馬 (滋賀) 378
 3位 以西鷹一郎 (徳島) 378
 ◆日本新・大会新 / 379点 (荒井陽文)

50m ライフル伏射 (FR60PR)

1位 織田 祐宏 (福井) 615.3 250.0
 2位 岩崎 俊 (長崎) 613.9 247.8
 3位 磯部 直樹 (大分) 614.4 225.9
 本選通過点数 1位: 616.9 8位: 612.8

10m エアライフル (AR60)

1位 岡田 直也 (岡山) 635.0 252.2
 2位 花川 直樹 (大阪) 629.7 251.3
 3位 戸田 陽翔 (徳島) 625.1 226.2
 本選通過点数 1位: 635.0 8位: 622.3
 ◆大会新 / 252.2 (決勝 岡田直也)
 日本新・大会新 / 635.0 (本選 岡田直也)

10m エアピストル (AP60)

1位 中山惇之丞 (岡山) 574 239.0
 2位 森川 清司 (広島) 569 233.7
 3位 松永 健太 (熊本) 563 212.0
 本選通過点数 1位: 574 8位: 560

25m センターファイアピストル 60(CFP60)

1位 松井 裕樹 (京都) 774
 2位 久松 慶太 (神奈川) 773
 3位 岩田 泰輝 (兵庫) 768

25m センターファイアピストル 30 (CFP30)

1位 松井 裕樹 (京都) 290
 2位 井下 友裕 (香川) 288
 3位 清水 大央 (滋賀) 286

成年女子

50m ライフル3姿勢 (R3X20)

1位 清水 綾乃 (岐阜) 578 460.9
 2位 堀之内 愛 (徳島) 588 459.3
 3位 川原 楓 (福岡) 581 446.3
 本選通過点数 1位: 588 8位: 576
 ◆大会新 / 460.9 (決勝 清水綾乃)
 459.3 (決勝 堀之内愛)
 ◆大会タイ / 588
 (本選 堀之内愛、平田しおり・石川)

50m ライフル伏射 (R60PR)

1位 清水 綾乃 (岐阜) 622.9
 2位 堀之内 愛 (徳島) 622.3
 3位 砥石 真衣 (長野) 621.5

10m エアライフル (AR60W)

1位 泰地 陽詩 (徳島) 633.1 248.7 (SO:10.0)
 2位 野田 朋花 (佐賀) 625.0 248.7 (SO:9.3)
 3位 村田 薫美 (滋賀) 633.1 227.5
 本選通過点数 1位: 633.5 8位: 620.5
 ◆大会新 / 633.5 (本選 三浦莉桜・福井)、
 633.1 (本選 村田薫美、泰地陽詩)

10m エアピストル (AP60W)

1位 財津 美加 (大分) 560 233.6
 2位 中川 花論 (高知) 559 229.2
 3位 佃 愛音 (広島) 553 210.3
 本選通過点数 1位: 560 8位: 553



50m ライフル3姿勢 - 成年男子



10m エアピストル - 成年男子



50m ライフル3姿勢 - 成年女子



50m ライフル立射 - 成年男子



25m センターファイアピストル 60 - 成年男子



50m ライフル伏射 - 成年女子



50m ライフル伏射 - 成年男子



25m センターファイアピストル 30 - 成年男子



10m エアライフル - 成年女子



10m エアライフル - 成年男子



開催県: チーム滋賀



10m エアピストル - 成年女子

滋賀県ライフル射撃協会

地元国スポ、
エアライフルMIX
師弟での優勝は
ジュニア強化の成果

会長

二宮 康人

DATA

NPO 法人滋賀県ライフル射撃協会
射撃場：滋賀県大津市大石東町鉦峠
設立：昭和41年4月

昨年6月に会長に就任し、息つく間もなく地元開催となった滋賀国民スポーツ大会を迎えました。ライフル射撃競技につきましては、前回の佐賀県同様、残念ながら県外開催となりましたが、大阪府の能勢ライフル射撃場をお借りし、近畿ブロックのみなさまのご協力のおかげで無事、大会を終えることができました。滋賀県だけでは到底成し得なかったことでした。改めまして、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

県外開催となった背景には、県内施設の老朽化があります。現在の射撃場は、44年前に行なわれた「びわこ国体（昭和56年、1981）」時に使用されたもの。エア射場が屋外にあるなど、すべてが老朽化し、現在のルールに対応していないため、県内での開催は難しいということがありました。

射撃場の課題同様、厳しい状況になっているのが会員数です。現在、滋賀県の会員数は約30名にとどまっています。しかも、実際に射場に足を運んでいる会員となるとさらに少なくなり、年齢層にも偏りが出てい

ます。もつとも多いのは60代以降で、中間層の40代から50代の会員がほとんどおらず、大会運営など、活動はシニア世代の役員が支えているのが実情です。

しかしながら、将来に向けては明るい材料があります。

県内には射撃部のある高校が水口高校、滋賀学園高校、甲南高校と3校あり、滋賀国スポに向けての育成強化には、10年ほど前から本格的に取り組んできました。

現在、ジュニア育成の中心は、県立武道館で行なっているビームライフル射撃教室です。この教室では、滋賀県代表の岩崎貴文選手をはじめとした協会員が指導にあたっており、中学生や、射撃部がない高校生など、約50人が参加しています。そこから育った選手が、滋賀国スポ・エアミックスで優勝した村田薫美選手です。ペアを組んだのは岩崎選手で、まさに師弟による勝利でした。この結果に、「これまでの努力が着実に成果を上げている」と、とても嬉しく思いました。

また、滋賀ダイハツ販売株式会社、

株式会社たねや、西川ローズ株式会社など、選手の雇用に協力的な企業の輪も少しずつ広がってきています。卒業後もこの地で射撃を続けられる環境を整えば、ジュニア選手たちにとって、競技を継続していく励みになつていくことでしょう。

今後の課題は、やはり会員の維持と拡大です。特に、大会運営の担い手になる40代から60代の層をいかに確保していくか、には頭を悩ませています。いまできることは、現状の会員数と環境を守り、減らさないこと。ここに注力していきたいと考えています。



喜びのチーム滋賀

これからももっと、 私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、

スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

その活躍には理由がある

射手の美学

第6回

ご登場いただくのは、先の東京2025デフリンピックに出場された高桑昭紀選手。御年84歳。今大会のなかでおそらく最高年齢に達していない。年齢を問わない射撃競技だが、80を超えて続けるのはなかなか難しいと聞く。インタビューから、高桑選手の射撃にかける尽きない情熱が伝わってきた。

現在、84歳。 私はアスリートとして射座に立っている

何十年も向き合い続けてきた種目だ。試合だからといって、いまさら過度に緊張することも無い、という思いもあったにちがいない。

しかし、この日はどこか違った。

伏射のマットの上で、何度となく銃を固定し直す。その動きから、本人の戸惑いを感じられる。はたから見ても何かが違っているのは明らかだった。

試合後の囲み会見。出てきた言葉は、

「なさけないと思っております」

「期待に応えられなくて申し訳ない」

それだけだった。

試合中、どうにも銃が定まらなかった。

「緊張してない」と自分では思っていたけれど、銃が定まらないということはやっぱ緊張していたんですね。デフリンピック



クという大会に出場したのは初めてだけど、国際大会の経験はあります。隣の射座には外国人選手がいましたが、違和感を感じなかった。なぜあれほど緊張したのか。自分でもよくわかりません。今回は600点越えを目標としてきました。何回も達成しているから、少なくともそこまでいければファイナルへの進出も可能だろうと考えていました。ところが、終わってみれば、575点。自身最悪の出来で、なさけないとしかいようがありません。

陸上自衛隊に所属していた頃、訓練の一環としての射撃経験はある。競技とし

て本格的に始めたのは、自衛隊を離れてからのことだという。

昔、ボーリング場でライフル射撃体験ができたんです。空気銃に鎖がつけられていてね。ボーリングを楽しむように、射撃を楽しむことができました。それがきっかけで本格的に始めるようになったんですよ。26歳だったかな。エアライフルから始め、すぐにSBもやるようになりましたね。そろそろ50年くらいになるんじゃないかな。

新聞社に5年、その後テレビ局に勤めました。報道の現場は忙しいときもあるけれど、そうでなければ土日は休めたので、時間を見つけては練習には通いました。射場が自宅から7、8分という環境にあるのも恵まれていますね。

国体には4回ほど出場しました。初めて出たのは、栃木国体（昭和55年、1980）です。このときは忘れられません。射座に入ったとたん、頭が真っ白になっちゃったんですよ、文字どおり。「スタート」の声を聞いてサイトをとのぞいても、何も見えない。本当にあときは散々でした。

25年前に定年を迎えた。以来、射撃中心の生活となった。海外の大会にも出かけて行き、腕を磨いた。

週に3、4回、射撃場に通うようになりました。午前9時頃、射場に行ってお昼までには帰ってくる。

技術は基本的に独学です。同世代の細川（幸雄／1976モントリオール・オリンピック代表）さんや香西（俊輔／元全日本代表コーチ）さんらに単発的に教わったことはありますけど、自分で研究しながらやってきました。誰かに教わると驚くようなことがありますね。細川さんに教わったときは、基本だということ、で1日の練習のうち、3分の2だったか、4分の3が空撃ちで、実弾を撃つことはほんの少しだけ。それが形をつくるということなのでしょう。我流でやっているのと、やはり途中で成長が止まるというかなかなか難しいものがありますね。3姿勢もやりましたが、近頃は立射がどうにも厳しくなり、伏射のみに絞りました。

今回出場したデフリンピックの射場は、トップ選手たちが練習するナショナルトレーニングセンターにある射撃場です。50mの屋内型射場は珍しく、全国に3射場程度です。屋内射場はやっぱりやりやすい。風や光の影響を考えなくてもいいですからね。

今年に入り、ケガもあった。「コートを更新したのだけれど、それが合わなかった」ことで、肩を痛めてしまった。調子があがらないまま迎えた大会だった。

それでも、

「腕が壊れてもやるぞ」

と元気に語り、チームメイトからは「倒れたら、マットごと運ぶから思いきりやっ



高桑 昭紀

たかくわ・あきのり

てきて」と笑顔で送り出された。

耳が遠くなったのは6、7年前からです。何回か病院に通ったんだけど、医者からは「お年ですな」で終わり（苦笑）。聴力の検査を受けたところ、「デフリンピック大会に出られる資格があるレベルにあるから、出場してみないか」というお誘いを受けて今回の挑戦となりました。

デフの試合自体、これが初めての出場です。でも、号令に関してカードで示されますので、聞こえないことでの不便はまったく感じませんでしたね。

きこえない・ききにくい人たちの大会と聞いていたけれど、実際に体験して射撃のレベル的には、国際大会のなかで少し下くらいかな、という印象を受けました。

今回の挑戦、悔しい敗退が、高桑さん

のなかにあるアスリート魂に火をつけた。

ここからまだまだ高みを目指していく、

と誓っている。

それにしても、今回の成績は情けない、情けない。どこが悪かったのか、と聞かれれば、悪かったところばかり、という出来でした。

銃が定まらないということ自体は、50年も射撃をやってくればやっぱり経験したことはあります。心臓の鼓動がダイレクトに伝わってくるから、定まらないんですよね。心臓が止められればいいけれど、そうもいかない（笑）。

ここからは頑張るというだけではダメです。今回の敗因はやはり緊張したこ

とによるものでしょう。これを克服するために、常に平常心、緊張をほぐすための方法も研究しなければいけないと思っております。

現在、84歳です。海外の試合に出場したとき、私よりはるかに上の94歳で活躍している射手がいっぱいいました。それ以来、「その方の年齢を超えるまで頑張るよ」と周囲の人には言っています（笑）。

趣味で始めたライフル射撃ですが、いま、私は道楽でやっているとは思っていません。私はアスリートとして、胸をはって射座に立っています。これからもその気持ちで続けていきたいですね。だからこそ、もっと勉強せなあかんし、練習せなあかんですね。

射撃の魅力は、狙ったところに弾が当たってくれること。そして、年齢も、障がいも関係ないところ。これからもまだまだ上を目指していきます。次のデフリンピックはアテネ（ギリシャ）であるということですので、そこで今回のリベンジを果たしたいと思えます。

PROFILE

高桑 昭紀 たかくわ・あきのり

1940年生まれ。石川県金沢市出身。26歳で射撃と出会う。ワールドマスターズのメルボルン大会、エドモント大会に出場。SB伏射60発競技、3姿勢競技で優勝経験がある。

1988年10月号のライスポを紐解くと、『長谷川、女子射撃で初の五輪“銀” 激闘の決勝 最終の5発見事満射』と見出しが踊る。この記録は、30年以上が経つたいまも塗り替えられず、日本女子射撃界にとつて、これが唯一のオリンピックメダルとなっている。長谷川智子こと、福島實智子。日本女子射撃史上初の快挙を成し遂げたレジェンド射手である。

標的とピストルと自分、この線のなかに吸い込まれるように集中する

昭和最後の1年となった1988年。韓国で第24回ソウル・オリンピックが開催され、日本から出場した女子選手が、スポーツピストルで見事銀メダルを獲得。日本女子射撃選手として初めて表彰台上がった。全競技のなかで、日本選手メダル獲得第1号でもあった。

「ソウル・オリンピックでメダルが確定した瞬間は、ほっとしたというのが一番でした。警察という名前を背負いながら競技をしてきてオリンピックに行くまで、これまで経験したことのないような出来事があり、相当なプレッシャーを感じていました。体調も崩しがちになり、夜眠れないということもしばしばありました。選手村に入って少し落ち着きを取り戻し、競技が終わって、そのすべてから解放された、というのが正直な気持ちでした」

射撃との出会いは半世紀ほど前に遡る。大阪府警に入って初めて射撃競技の

存在を知った。

「警官としてピストルには携わりますし、警察のなかに実業団のような射撃チームがあるなら面白そうだな、やってみたいという軽い気持ちから始めました。最初の頃のメインは警察の全国大会で、それ以外は府警本部が管轄する警察署で交通の仕事をしていました。そこで結果を出していき、スポーツピストルも始めた頃には練習のほうメインになっていきました」

当時、ピストル女子選手は、関東を中心として、大阪、滋賀などの警察官だった

たという。

「あの頃、大阪府警の練習射場は大阪城公園にありました。いまでは信じられないでしょう（苦笑）。観光客がたくさん来る場所の中なんです。半分野外的ような施設で、一応屋根はあるんですが、四方八方で雨漏りしていて、コンクリートの床はその雨漏りでポコポコ。場所によっては外からも丸見え。標的ももちろん電子標的ではなくて、紙標的を画鋏で留めたようなものでした。練習環境としては最悪ですが、当時、不満はまったくありませんでした。練習をさせていただけましたし、結果を出すことによって府警からも応援していただきました」

生来の負けず嫌い。僅差の勝利では納得がいかず、「ぶつちぎり」で勝たなければ満足できなかった。「周囲をいい成績で驚かせたい」。それが原動力だった。

「当時は予算の都合もあり、自由に実弾を撃てるわけではなく、練習のほとんどは据銃練習や空撃練習でした。先輩から基本は習うんですが、とにかくうまくな

りたくて、自分でいろいろと工夫しましたね。もっと楽に撃てる方法はないかと、なにか思いつくと、試してみる。いま振り返ると、それは邪道な撃ち方じゃないかと思われるようなこともやっていました。

よくやった練習の一つが、カセットを使った方法です。30秒間音楽が流れ、次の30秒は無音になる、を繰り返す練習用のカセットテープをつくり、音楽が鳴っている間は休憩、音楽が止まると標的に向かって据銃、という練習です。テープは片面30分録音できるもので、止まるたびにテープをひっくり返す、の繰り返しです。休むといっても、立ったまま腕だけ下ろして休めるだけ。これを延々、どれだけやったかわからなくなるまで練習していました」

オリンピックを意識するようになったのは、本番2年前のアジア大会だった。

「1986年にソウルで行なわれた第10回アジア大会、エアピストルで優勝し、スポーツピストルで2位となりました。このときに、このまま頑張ったらオリンピックに行けるかも、と思うようになりました。

印象に残っている試合は、1987年スイスで行なわれたワールドカップです。エアピストル本選5位でファイナルに上がり、ごぼう抜きで優勝しました。競り勝ったというのがすごく嬉しかったので、

大学で指導する内田翼選手



とても記憶に残っています」

ソウル・オリンピック後に一度引退。9年後、後悔しない人生を送るため、やり残したことに再挑戦したいと現役復帰した。

「25mはメダルがとれましたが、10mはとれなかったので、やり切ったという気持ちになかったんですね。もう一度オリンピックを目指してみたい、と思いました。」

とはいえ、府警でやっていた頃は自分のことだけ考え、自分が結果を出すために、自分のペースで生活してきました。でも、自分だけの力ではメダルはとれないですね。私が練習できるように、周りの方々がうまくサポートしてください。だからできたこと。周囲への感謝を忘れてはならない、ということを一一般選手になつて痛感しました。

そこから、シドニー、アテネ、北京とオリンピックに挑戦しました。実は、北京の選考会ときは、やめようと考えていたんです。精神的に参っていて、うまくするために何をしたらいいのか、わからなくなっていました。たまたま出場権がかかったワールドカップで奇跡的に25mで2位には入り、北京に行くことができました。でも、その大会で、本当にもう燃え尽きてしまい、競技人生に区切りをつけました」



福島實智子

ふくしま・みちこ

2013年から同志社大学で指導にあたっている。

「感覚だけではなく、その理由を言葉で説明する。強制しないで選手の納得感を大切にするなど、いま、私は現役時代に、私自身がしてほしい指導をしています。」

射場で撃つだけでは、理想とする射撃はなかなかできません。ピストルを支えるトレーニングが必要です。警察官だと訓練などで体力をつける機会がありますが、近頃の学生さんはスポーツ経験が少ない人も多いようなので、特に必要だと思います。中心に鍛えてほしいのは足腰。ここを鍛えないとすぐに体がフニャッとふらついて姿勢が乱れ、ピストルもしっかり止まらない。止まらないと自分が撃

ふくしま・みちこ

ちたい射撃ができません。ピストル競技は多くの場合、スタートして腕を上げ、落として黒点のちよつと下あたりを狙い、自分の好きなタイミングで引き金を引きます。ただそれだけなので、気合を入れて構えなくていい。自分のリズムで撃ち続けていけば、理想とする自分の撃ちたい射撃ができるようになります。自ずと点数も上がってきます。

私も選手時代、退屈だとは思えなかった据銃練習ですが、体を支える筋力と銃を支える安定感を養う重要な基礎練習だ、といまはわかります。ここもぜひやっていた方がいいですね」

学生選手を見ていて、熱心に練習して

いると感心する。だからこそ、練習した成果が結果につながってほしい、と願っている。

「いまの選手は小さいときからやっていた形が染み付いているので、大きな変更はしません。どちらかというと、メンタル部分のアドバイスが多いですね。」

私にとつての射撃の魅力は、個人競技なので、責任はすべて自分にあるということ。もう一つは、標的とピストルと自分、この線のなかに吸い込まれるように集中することで、自分の世界に浸れるところ。競技者人生で、諦めず、忍耐強く努力すればなんとかなることを学びました。

時代が変わり、便利なものが増え、それにあわせて生活も便利になりましたが、やはり基本は練習。感覚を養うためには文明の力ではなく、練習で養っていた方がいい。試合で一発でも自分らしい、満足がいくものにするために練習してほしいと思います」

PROFILE

福島實智子 ふくしま・みちこ

大阪府出身。春日高校卒。
主な成績／1985、1986年全日本選手権AP1位、SP1位。1986年アジア大会（ソウル）AP優勝、SP2位。1987年アジア選手権（北京）AP2位。1987年チューリヒワールドカップ・キューバワールドカップAP優勝。メキシコワールドカップSP2位。1988年ソウル・オリンピックSP2位、AP11位。（ここまで長谷川智子）。2000年シドニー・オリンピックAP5位、SP5位。2004年アテネ・オリンピックAP25位、SP13位。2008年北京オリンピックAP38位、SP10位など。

東京2025デフリンピック、 閉幕

日本代表、 デフリンピック射撃界に 確かな一歩を刻む



「きこえない・きぎにくい」アスリートのためのスポーツの祭典・東京2025デフリンピック。11月16日(日)から始まった射撃競技は、25日(火)にすべての種目が終了しました。

開催期間、会場となった味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト射撃場には、世界19の国と地域から選手たちが集合。日頃は国内トップの選手たちが練習する施設に、アスリート、スタッフ、ボランティアなどたくさんのたちが訪れ、華やいだ雰囲気となりました。

日本からは5人の選手が出場。残念ながら入賞することはできませんでしたが、成績以上の収穫があったようです。試合を終えた日本選手団の声をお届けします。(高桑昭紀選手につきましては、18～19ページに掲載している「射手の美学」をごらんください)

東京2025デフリンピック射撃競技

日本選手団◆監督／柳田勝 コーチ／酒寄貴瀬 選手／桂玲子 (50m 伏射女子・50m ライフル3姿勢)、高桑昭紀 (50m ライフル伏射男子)、永田英司 (10m エア・ライフル男子)、濱谷秀平 (10m エア・ライフル男子・10m エア・ライフル混合)、柳田かれん (10m エア・ライフル女子・10m エア・ライフル混合)

RESULTS

ARM

1位	スリカント・ダヌシュ (IND)	630.6	252.2	WR DR
2位	ヴァニア・モハメッド・ムルタザ (IND)	626.3	250.1	
3位	ベク・スンハク (KOR)	617.1	223.6	
本選通過点数	1位: 630.6	8位: 614.9		
予選敗退	濱谷 秀平	569.7		
予選敗退	永田 英司	543.3		

ARW

1位	リコヴァ・ヴィオレタ (UKR)	620.9	252.4	
2位	サンデュ・マヒット (IND)	623.4	250.5	
3位	ワグマーレ・コマル・ミリンダ (IND)	622.0	228.3	
本選通過点数	1位: 624.4	8位: 617.4		
予選敗退	柳田かれん	605.8		

AR 混合

1位	インド (マヒット/ダヌシュ)			
2位	韓国 (チャン/キム)			
3位	インド (ムルタザ/ミリンダ)			
12位	濱谷/柳田			

RPRM

1位	ペトレンコ・ドミトロ (UKR)	622.1	251.0	
2位	ミュラー・コリン・ダニエル (GER)	620.8	245.4	
3位	ラジャワット・クシャグラ・シン (IND)	608.7	224.3	
本選通過点数	1位: 569.7	8位: 606.1		
14位	高桑 昭紀	575.7		

RPRW

1位	スヴォボドヴァ・エリスカ (CZE)	617.8	247.2	DR
2位	サンデュ・マヒット (IND)	619.7	246.1	
3位	ピアトフスキ・ミラ・ズスナ (HUN)	616.1	225.0	
本選通過点数	1位: 619.7	QWR QDR	8位: 605.9	
11位	桂 玲子	595.7		

R3PW

1位	サンデュ・マヒット (IND)	585-31x	456.0	DR
2位	チョン・テイン (KOR)	573-25x	453.5	
3位	ピアトフスキ・ミラ・ズスナ (HUN)	573-18x	438.6	
本選通過点数	1位: 585-31x	QWR QDR Q	8位: 555-13x	
12位	桂 玲子	473-4x		

この経験を伝え、共有して
いくことが、僕たちの使命

濱谷 秀平 はまや しゅうへい ARM ARMIX

これまでにないほど緊張しました。会場は知っている場所ですし、ここで練習も積んできましたので、大会には自信を持って挑んだはずでした。でも、国際大会は違いました。見知らぬ射撃場に来たような、床から体に伝わってくる感じもいつもと異なる感覚がありました。そうした違和感に囲まれ、試合をしたというより、その空気感を必死で耐えたという感じで終わってしまいました（苦笑）。

とはいえ、私たちはデフリンピック射撃に初めて出場した選手であることはまちがいません。違和感を含めたこの経験をみんなに伝え、共有し、全体でレベルアップしていくことがこれからやらなければいけないことかと思えます。また、ここまで来られたのは家族や会社をはじめ、たくさんの方々のサポートのおかげです。感謝しています。

出場者はレベルの高い選手ばかり
そのなかで、日本選手はよく頑張りました

柳田 勝

やなぎた まさる
日本代表監督

競技専門でやっている選手ばかりだったので、予想以上のレベルでしたが、そのなかで、日本の選手たちはみなよく頑張ったと思います。濱谷選手は普段から緊張するタイプですが、時間いっぱい使い、あきらめずにベストを尽くしました。永田選手もよく頑張りました。柳田かれんは普段の1割減ぐらいの出来で、よく頑張ったと思います。緊張したようですが、楽家なので、少し緊張したくらいがちょうどよかったでしょう。高桑さんは肩を壊してから調子が悪かったので、そのなかでよく頑張ったと思います。桂さんもあまり練習できないなか、頑張りました。

私自身は選手を第一に考え、ここまで取り組んできましたので、それぞれが挑戦してよかった、と思ってくればそれが一番だと考えています。

日本選手たちは、常日頃、きこえない・きこえにくい障がいを抱え、社会のなかでバランスをとりながら生活しています。今回、このデフリンピックのためにその軸足を少し競技に移し、取り組んできました。大会を終え、これからも競技に力を入れていくか、どうか、それぞれ方向性は見えてきたのではないかと思います。また続けてみたいなと思ってもらえたならなによりです。

私自身が選手を第一に考え、ここまで取り組んできましたので、それぞれが挑戦してよかった、と思ってくればそれが一番だと考えています。



私が求めてきた共生社会が
ここにあった

桂 玲子 かつら れいこ 日本ろう者ライフル射撃協会会長 / RPR R3P

今大会には世界中からたくさんの選手、スタッフ、ボランティアが集まりました。そこには、聴覚障がい者もいれば、健常者もいました。普段使っている言語も手話も異なりますが、会場ではその違いはまったく関係ありませんでした。ジェスチャーを交えながら、自分たちのやり方でコミュニケーションをとり、ときに真剣に、ときに笑顔で接する光景があらこちらで見られました。これこそ、私が求めていた『共生社会』そのもの。その姿を見て、私はこの挑戦の成功を確信しました。

選手としてはファイナルに上がれませんでした。結果については満足しています。本来であれば、日本代表選手として出場する以上、メダルを目指さな

本射で海外選手が放つ
空気の違いを肌で感じた

永田 英司 ながた へいじ ARM

試射の段階ではいい感じで撃つことができていました。ところが本射に入った途端、しっかりと照準を合わせたつもりだったのに、弾は10点を避けるかのように飛んでいきました（苦笑）。平常心で射座に入ったつもりでしたが、気持ちと体のバランスを欠いていたようです。試射と本射では選手のみなさんが放つ空気感もガラッと変わるのだということ、肌で感じました。

この場に立ってみて、技術的にも身体的にも、まだまだ足りないことがはっきりとわかりました。今後の目標は4年後のデフといたいところですが、当面の目標はまず600点を着実に出せるようになること。そこから始め、4年後を目指していきたいと考えています。

これから国際大会に積極的に出場し、
いつの日かメダルをとる！

柳田 かれん

やなぎた かれん
ARW ARMIX

射撃を始めた当時からの東京デフリンピックを目指してきました。ここに至るまでたくさんの方々のサポートを受け、応援の言葉もいただきました。そんなみなさんのために結果を出したいという思いで今回、この射座に立ちました。ある程度実力通りのものは出せたといえますか、いまの自分にやれる範囲のことはできたと思っていますので、結果に悔いはありません。

私の目標は、世界の舞台でメダルを獲得することです。今大会で、試合中に自分のルーティーンが崩れてくるという課題が見えてきましたので、その改善に取り組みながら、これから国際大会に積極的に出場し、経験を積んでいく。そうすることで、いつの日にか必ず目標を達成できる、と信じて努力していきます。

私自身は選手を第一に考え、ここまで取り組んできましたので、それぞれが挑戦してよかった、と思ってくればそれが一番だと考えています。

日本デフ射撃はここからがスタートです。今回出場した選手と出場できなかった方の強化、射撃を始めたもののまだ銃の所持資格取得ができていない方のサポート、そして、新しい選手の発掘と育成。やらなければいけないことが、たくさんあります。日本ライフル射撃協会のみなさまにお力をお借りしながら、4年後に向けて始動していきたいと考えています。

ISSF世界選手権カイロ大会

開催地：カイロ射撃場（エジプト）
開催日：11月6日（木）～18日（火）
報告者：佐橋 朋木／選手強化委員長

RESULTS

ARM			
1位	ダリンガー・マクシミリアン (GER)	632.6	252.0
2位	リンドグレン・ヴィクター (SWE)	634.6	251.7
3位	シェン・リハオ (CHN)	633.5	229.9
4位	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	633.1	208.5
本選通過点数 1位：634.6 8位：632.4			
19位	岡田 直也 (ALSOK)	630.6	
76位	遠藤 雅也 (自衛隊体育学校)	625.7	

ARM 団体			
1位	中国 (ワンH/シェン/ワンY)	1898.4	
2位	ドイツ (ダリンガー/ウルブリック/ビュルマイヤー)	1893.7	
3位	ハンガリー (ペクラー/ペニ/ハンメル)	1891.4	
7位	日本 (花川/岡田/遠藤)	1889.4	

ARW			
1位	バン・ヒョジン (CHN)	633.0	255.0
2位	ワン・ズーフェイ (KOR)	634.2	254.0
3位	ヴァラバシ・エラヴェル (IND)	633.4	232.0
本選通過点数 1位：635.1 8位：633.0			
22位	泰地 陽詩 (明治大学)	630.7	
24位	三浦 莉桜 (錦江田製作所)	630.1	
42位	野畑 美咲 (明治大学)	628.2	

ARW 団体			
1位	中国 (ハン/ワン/ポン)	1901.7	
2位	韓国 (クォンE/クォンY/バン)	1899.9	
3位	インド (ヴァラバシ/ジャナル/アグラル)	1893.3	
5位	日本 (泰地/三浦/野畑)	1889.0	

ARMIX			
1位	中国1 (ワン/シェン)	634.9	17
2位	中国2 (ボン/ワン)	634.9	3
3位	トルコ (コセ/ナルバント)	634.2	
13位	野畑 美咲/岡田 直也	630.4	
17位	三浦 莉桜/花川 直樹	629.5	

APM			
1位	ラナ・サムラート (IND)	586-27x	243.7
2位	フー・カイ (CHN)	583-29x	243.3
3位	トーマル・ヴァルン (IND)	586-26x	221.7
本選通過点数 1位：586-27x 8位：583-21x			
59位	中山惇之丞 (岡山商科大学)	574-16x	
68位	岩佐 正貴 (自衛隊体育学校)	572-15x	

APW			
1位	ヤオ・チェンシェン (CHN)	584-25x	243.0
2位	シング・ホーチー (HKG)	580-16x	241.2
3位	チエン・ウェイ (CHN)	585-28x	221.4
本選通過点数 1位：585-28x 8位：579-21x			
48位	相澤ひかる (警視庁)	569-14x	
76位	財津 美加 (大分県警察)	563-12x	

APMIX			
1位	中国2 (ヤオ/フー)	583-26x	16
2位	インド2 (シン/ラナ)	586-26x	10
3位	韓国2 (オ/ハン)	581-24x	
18位	財津 美加/中山惇之丞	576-18x	
38位	相澤ひかる/岩佐正貴	571-17x	

R3PM			
1位	リウ・ユクン (CHN)	591-34x	467.1
2位	トーマル・A・P・シン (IND)	597-40x	466.9
3位	オーフレール・ロマン (FRA)	594-43x	454.8
本選通過点数 1位：596-45x 8位：590-37x			
12位	岡田 直也 (ALSOK)	590-29x	
予選敗退 花川 直樹 (自衛隊体育学校) 580-30x			
予選敗退 遠藤 雅也 (自衛隊体育学校) 570-17x			

R3PM 団体			
1位	フランス (クリス/オーフレール/ボドゥアン)	1771-101x	
2位	ノルウェー (ルグヴァルセン/イーストリー/ヘグ)	1768-92x	
3位	スイス (ヴァルシュ/ロツホビヒラー/デュール)	1764-100x	
20位	日本 (岡田/花川/遠藤)	1736-77x	

R3PW			
1位	デュスタ・ヤネッテ・ヘッグ (NOR)	595-34x	465.8
2位	イエーギ・エミリー (SUI)	592-36x	465.3
3位	マックス・オレンブルガー (GER)	589-36x	454.6
8位	野畑 美咲 (明治大学)	589-27x	406.4
本選通過点数 1位：595-34x 8位：589-27x			
41位	平田しおり (ALSOK)	582-29x	
予選敗退 田邊 伶奈 (岐阜県工業) 576-25x			

R3PW 団体			
1位	中国 (ワン/マオ/ハン)	1766-95x	
2位	スイス (クリス/イエーギ/イエーギ)	1761-98x	
3位	カザフスタン (マリノフスカ/ベズコフ)	1758-81x	
14位	日本 (野畑/平田/田邊)	1738-70x	

RPM			
1位	シュミール・アレクサンダー (AUT)	629.1	
2位	ロツホビヒラー・ヤン (SUI)	628.1	
3位	ヴァルシュ・ファビオ・パウ (SUI)	628.0	
47位	岡田 直也 (ALSOK)	618.2	
54位	遠藤 雅也 (自衛隊体育学校)	616.7	
66位	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	612.0	

PRM 団体			
1位	中国 (ツァオ/リウ/リー)	1881.3	
2位	スイス (ロツホビヒラー/ヴァルシュ/デュール)	1880.5	
3位	ノルウェー (ルグヴァルセン/ヘグ/イーストリー)	1874.7	
14位	日本 (岡田/花川/遠藤)	1846.9	

RPW			
1位	オ・セヒ (KOR)	626.5	
2位	デュスタ・ヤネッテ・ヘッグ (NOR)	625.9	
3位	ヴァルシュ・ファビオ・コングレン (DEN)	625.1	
11位	野畑 美咲 (明治大学)	622.0	
45位	平田しおり (ALSOK)	615.8	
57位	田邊 伶奈 (岐阜県工業)	610.0	

PRW 団体			
1位	韓国 (オ/イ/イム)	1872.8	
2位	デンマーク (ペリセン/イブセン/ヤコブセン)	1866.1	
3位	ノルウェー (デュスタ/ハウゲン/レーフセート)	1863.2	
12位	日本 (野畑/平田/田邊)	1847.8	

RFP			
1位	ベサゲ・クレモン (FRA)	589-21x	31
2位	アニシュ・アニシュ (IND)	585-22x	28
3位	ホロディネツ・マクシム (UKR)	583-20x	25 SO
本選通過点数 1位：589-21x 6位：582-19x			
18位	武内 響 (自衛隊体育学校)	576-17x	
24位	吉岡 大 (京都府警察)	574-17x	
38位	岩田 泰輝 (兵庫県警察)	569-15x	

RFP 団体			
1位	ドイツ (ミュラー/ガイス/ペーター)	1748-56x	
2位	中国 (ニ/ホー/スー)	1740-53x	
3位	韓国 (イG/イJ/ホン)	1735-59x	
7位	日本 (武内/吉岡/岩田)	1719-49x	

SP			
1位	ヤン・ジン (KOR)	591-29x	40
2位	ヤオ・チェンシェン (CHN)	588-21x	38
3位	シン・イーシャ (IND)	587-21x	30
本選通過点数 1位：591-29x 8位：585-22x			
25位	財津 美加 (大分県警察)	580-20x	

300R3PM			
1位	バルトニク・トマシュ (POL)	594-25x	
2位	シディ・ペーター (ROU)	591-27x	
3位	パッハマン・パスカル (SUI)	589-25x	
20位	近藤 桂司 (九州乳業)	573-17x	
※日本新記録			
25位	嘉山 豪 (プレス工業)	551-9x	

300PRM			
1位	ベトル・ニンブルスキー (CZE)	597-40x	
2位	マックス・オレンブルガー (GER)	597-38x	
3位	ヨン・ソール・シグルズソン (ISL)	597-36x	
32位	嘉山 豪 (プレス工業)	565-7x	
予選敗退 近藤 桂司 (九州乳業) 579-12x			
予選敗退 神山 直三 (埼玉県庁) 567-12x			

50mPM			
1位	シン・ラヴィンダー (IND)	569-12x	
2位	キム・チョンヨン (KOR)	556-12x	
3位	アリスタルホフ・アントン (AIN)	556-8x	
44位	世利 優大 (福岡県庁)	496-5x	



日本新記録 近藤桂司選手

Athlete Voice

花川 直樹 選手 ARM 4位

まずは日頃から応援してくださり本当にありがとうございます。みなさまの支えや応援があってこそ、いまの自分があり、世界選手権で実力を発揮できたと思います。

この1年の目標であった世界選手権大会での入賞を果たすことができ、嬉しさと同時に、メダルに届かなかった悔しさもありました。この悔しさを忘れず、ここがスタートラインであることを肝に銘じて次の大会に向けて精進したいと思いますので、今後とも応援よろしく願います！

野畑 美咲 選手 R3PW 8位

今回の世界選手権では、50mライフル3姿勢で自己新記録を更新し、決勝に進出することができました。本選では、これまで以上に風を読む力と自己精神のコントロール力を発揮できたと振り返っています。しかし決勝では、まだまだ練習不足であることを痛感しました。一方で、10mエアライフルでは本来の力を発揮できず、たいへん悔しい結果となりました。日本チームとしては全体的にスコアが伸びており、一体感とともに大きな喜びを感じています。

総評

今大会は、ライフル選手2名がファイナル進出、4位と8位になった。

過去大会で、2名がファイナルに進出したのは2010年大会、ライフル選手が入賞したのは、1990年の柳田勝氏の銅メダルまでさかのぼる。デフリンピックと期間が重なっていたこの大会で、デフリンピック日本代表監督の柳田勝氏の記録をカイロで更新できたことは、運命を感じる。

入賞には届かなかったが、岡田直也選手の50m3姿勢はファイナル進出同点、エアライフル男女・ラピッドファイアピストルの団体で入賞など、日本チーム全体として世界とのレベルが近づいてきている状況である。2026年もチームとしてさらに高い目標を達成していきたい。

ワルサー新型エアライフルLG500登場！

WALTHER

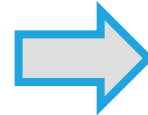
LG500 itec

TARGETED PERFECTION

最新バレルクランプ
により剛性が高まり
ました！

グリップ内臓型の最新
電子トリガー登場！
メカニカルから
ユニットのみの交換も
可能です！

公式X始めました！



Shooting World

MOST TRADITIONAL GUNSMITH IN JAPAN KUNITOMO CO., LTD. Since the 16th C.A.D.

(社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー

ワルサー社日本総代理店

株式会社 **國友銃砲火薬店**

TEL(075)351-3037 FAX(075)351-3041

〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入 國友ビル 3F

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail:shooting@zj8.so-net.ne.jp

東アジアユースエアガン大会

開催地：チュンチョン公共射撃場（韓国）
開催日：12月3日（水）～8日（月）
報告者：渡部 奏乃音 / 国際学院高等学校

日本チーム集合写真
上段左から、渡部奏乃音・大浦泰正・半谷悠・加藤凜・一瀬蒼大・長屋佳芽・河添碧海・高島正樹
下段左から、キムウーヨン・三浦寿花・中島結彩・石田紬葵・飯塚真彩・平沢美織・川村悠夏



RESULTS

ARM

1位	ユアン・チェン (TPE)	622.2	249.2
2位	ヒスン・ソ (KOR)	625.3	247.7
3位	イン・テン・エストン・ス (SGP)	624.0	226.3
6位	半谷 悠	617.4	162.9
本選通過点数	1位：625.3	8位：616.6	
11位	河添 碧海	607.5	
12位	加藤 凜	606.1	

ARW

1位	ガヘ・チェ (KOR)	626.8	255.1
2位	石田 紬葵	620.2	248.6
3位	川村 悠夏	623.5	227.2
7位	飯塚 真彩	620.7	142.9
本選通過点数	1位：629.6	8位：620.2	

APM

1位	ミンギユ・イ (KOR)	581	239.1
2位	ヒョンジュン・イ (KOR)	571	237.0
3位	ユーチェン・ワン (SGP)	565	215.1
8位	一瀬 蒼大	562	108.2
本選通過点数	1位：581	8位：560	
9位	長屋 佳芽	555	
11位	大浦 泰正	541	

APW

1位	ゲクリン・クエック (SGP)	560	233.6
2位	三浦 寿花	551	227.6
3位	シャン・ロン・クラリス・リー (SGP)	556	209.9
本選通過点数	1位：562	8位：534	
9位	平沢 美織	534	
10位	中島 結彩	530	

AR Mixed Team

1位	ガヘ・チェ / ヒスン・ソ (KOR)
2位	スイユ・テ / ユアン・チェン (TPE)
3位	川村 悠夏 / 半谷 悠
10位	石田 紬葵 / 河添 碧海
12位	飯塚 真彩 / 加藤 凜

AP Mixed Team

1位	ミンギユ・イ / ユビン・チェ (KOR)
2位	ケイ・スウ・ハン / シン・トン・サマンサ・チェン (SGP)
3位	三浦 寿花 / 大浦 泰正
10位	長屋 佳芽 / 中島 結彩
11位	一瀬 蒼大 / 平沢 美織

総評

今年の東アジアユース大会は韓国で開催され、例年の3カ国に加えて台湾とインドネシアも参戦。計5カ国による国際色豊かな大会となった。大会前には韓国主催のトレーニングキャンプが行なわれ、射撃動画の分析、メンタル、体力測定など、普段あまり経験できないプログラムは選手たちにとって自分の射撃や能力と向き合う有意義な時間となった。また、他国の選手との交流も広がり、国を超えた繋がりの大切さも実感できた。

競技では、日本チームとして個人種目 AR 女子・AP 女子、団体種目 AR 女子・AP 男女、ミックス種目 AR・AP でメダルを獲得。金メダルには届かず悔しい結果となったが、多くの課題が明確になり次につながる大きな糧となった。

来年は日本が開催国となる。金メダル獲得に向けて、選手一人ひとりが成長を実感できる環境づくりを進め、競技力向上を目指したい。



表彰セレモニー集合写真
上段左から、加藤凜・長屋佳芽・一瀬蒼大・三浦寿花・川村悠夏・石田紬葵・飯塚真彩・平沢美織・中島結彩
下段左から、河添碧海・大浦泰正・高島正樹・渡部奏乃音・半谷悠



個人戦様子



オープニングセレモニー集合写真



AR Team女子
左から、日本チーム(飯塚・川村・石田)・韓国チーム・シンガポールチーム



AP Team女子
左から、シンガポールチーム・韓国チーム・日本チーム(中島・三浦・平沢)



AP Team男子
左から、台湾チーム・韓国チーム・日本チーム(長屋・一瀬・大浦)

Athlete Voice

石田 紬葵 選手

目標としていたメダルを獲得することができてとても嬉しいです。予選では調子が上がらず納得のいかない得点となり、決勝進出ができなかもしれないと考えていましたが、9位と0.1点差で8位に入り、安堵したと同時に決勝に向けて気持ちを切り替えて全力で挑む覚悟を決めました。ファイナルでは一発一発に集中し、絶対にうまくいくと思ってイメージトレーニングをしながら挑むことができました。なにより楽しんで撃つことができたのでよかったです。また、海外の選手とも交流ができてとてもいい経験となり、これからの海外試合でもメダル獲得ができるよう練習に励んでいきます。

川村 悠夏 選手

今回初めて国際大会に出場し、個人・ミックスで3位、チームで2位という結果を残すことができました。昨年は出場できなかった大会なので、今年は出場を目標としていましたが、メダルを3つ獲得できとても嬉しく思います。参加国が5カ国に増え、外国の選手との交流で多くを学び成長できました。支えてくれた指導者や家族への感謝を忘れず、今後も努力を続けます。

三浦 寿花 選手

今回、2度目となる東アジアユースエアガン大会に参加し、多くのメダルを獲得することができました。個人ファイナルでは強い緊張のなかでも積極的な射撃ができ、序盤からいい流れで試合を進められたことが自信につながりました。また、試合前には韓国選手とのQ&Aや映像解析を通して新たな視点を得ることができました。今回の遠征で得た成長や課題を、今後の練習に生かしていきたいです。応援ありがとうございました。

New Model !!



上段：Model 900 Alu MESHPRO
下段：Model 900 Alu

Feinwerkbau GmbH Model 900 Alu

商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または公式LINEまで！！

株式会社 銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)
TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

公式SNSで
お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



友達追加はこちら!!



ホームページより
カタログをダウンロード
できます。



全日本スポーツ射撃競技選手権大会 男女混合オリパラ共生大会

開催地：宮城県ライフル射撃場（宮城県石巻市）
開催日：10月31日（金）～11月3日（月祝）
報告者：五十嵐 嘉也／宮城県ライフル射撃協会副会長



AR60MW



AR60MW女子の部



AR60MW団体



R3PMW



R3PMW女子の部



R3PMW男子の部



R3P団体



ARMIX



APMW女子の部



APMW男子の部



APMIX

RESULTS

ARMW

1位	野畑 美咲 (大分県)	636.7	253.6
2位	岡田 直也 (岡山県)	633.8	252.0
3位	鈴木 志佳 (埼玉県)	631.7	230.7
本選通過点数	1位：636.7	8位：628.6	

ARMW 団体

1位	VISION	1893.6
(野畑美咲 636.7/ 平田しおり 626.3/ 三浦莉桜 630.6)		
2位	自衛隊体育学校A	1885.7
(島田敦 624.6/ 花川直樹 632.3/ 遠藤雅也 628.8)		
3位	自衛隊体育学校C	1884.1
(清水綾乃 623.8/ 鈴木志佳 631.7/ 堀之内愛 628.6)		
※野畑美咲 本選女子日本新		

R3PMW

1位	野畑 美咲 (大分県)	578-24X	456.8
2位	堀之内 愛 (埼玉県)	585-25X	453.7
3位	岡田 直也 (岡山県)	580-25X	442.2
本選通過点数	1位：585-25X	8位：576-23X	

R3PMW 団体

1位	自衛隊体育学校C	1731-65X
(清水綾乃 574-21X/ 鈴木志佳 572-19X/ 堀之内愛 585-25X)		
2位	わんショット	1729-73X
(野畑美咲 578-24X/ 平田しおり 575-26X/ 田邊伶奈 576-23X)		
3位	限界就活生	1713-54X
(木暮裕菜 569-20X/ 村田薫美 566-13X/ 岡田美月 578-21X)		

RPMW

1位	岡田 直也 (岡山県)	623.1
2位	清水 綾乃 (埼玉県)	620.4
3位	山本 拓生 (三重県)	619.7 最終 S-104.4

RPMW 団体

1位	フェニックス	1853.0
(町田健太郎 618.1/ 織田祐宏 618.7/ 篠原章宏 616.2)		
2位	ONE わんワン	1850.8
(町田莉子 615.2/ 平田しおり 617.9/ 田邊伶奈 617.7)		
3位	UNICORN	1850.4
(山本拓生 619.7/ 池邊龍平 611.0/ 大塩勇斗 619.7)		

ARMIX

1位	自衛隊体育学校B (遠藤雅也／清水綾乃)
2位	自衛隊体育学校A (花川直樹／堀之内愛)
3位	つむすけ (石田紬葵／高岡優介)
※つむすけ本選ジュニア日本新 (627.8)	

APMW

1位	中山惇之丞 (学連)	573-20X	239.8
2位	岩佐 正貴 (埼玉県)	573-16X	237.0
3位	山口 航輝 (福井県)	571-16X	216.6
本選通過点数	1位：569-14X	8位：573-20X	

APMW 団体

1位	自衛隊体育学校	1708-51X
(金坂春杜 568-16X/ 岩佐正貴 573-16X/ 山田聡子 567-19X)		
2位	3パカトリオ	1695-48X
(森田馨介 572-15X/ 中山惇之丞 573-20X/ 内田翼 550-13X)		
3位	警視庁	1685-46X
(相澤ひかる 570-16X/ 星野優奈 553-13X/ 尾崎菜 562-17X)		

APMIX

1位	自衛隊体育学校A (岩佐正貴／山田聡子)
2位	あべこべ (関川颯太／石津仁規)
3位	道産子あかたろう (安達太郎／泉谷明里)

総評

平成30年以来、7年ぶりの延べ550余名のG1大会でした。前回は10m種目だけの大会であったので、今回の大会運営については、五里霧中でありました。しかし引き受けた大会は無事貫徹しなくてはならず、苦勞の多い大会でもありました。宮城県ライフル射撃場は26の電子標的ですが、さすがに10m・50mとなおかつ足切りを最終的に行わず、多人数となったことが、競技運営上8時過ぎからファイナルが16時となり、11月の初旬でも日が暮れるのが早くなり、50m射場では10的に照明器具を新たに設置し対応を図りました。結果正解でした。しかしながら、今回も当射撃場で日本新記録等を記録したことは、撃ちやすい射撃場として、みなさんに喜んでもらえたことと感謝しております。



SIUS と共に 新たなステージへ

 SWISS PRECISION

日本における
光学式電子標的・超音波式電子標的の
リーディングカンパニー

ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)
SIUS社 日本総代理店



日本ビーム株式会社



2025年度 全日本学生スポーツ射撃選手権大会

開催地：栃木県ライフル射撃場（栃木県）
 開催日：10月23日（木）～10月26日（日）
 報告者：宮原 采愛／慶應義塾大学

RESULTS

男子総合団体

1位	明治大学	3571.7
2位	日本大学	3553.7
3位	慶應義塾大学	3521.4

ARM 団体

1位	明治大学	1858.7
2位	日本大学	1851.7
3位	中央大学	1846.8

ARM

1位	高岡 優介（明治大学）	248.2	620.3
2位	戸田 陽翔（岡山商科大学）	247.6	625.7
3位	田口 歩武（東洋大学）	223.0	619.9
本選通過点数	1位：625.7	8位：619.9	

R3PM 団体

1位	明治大学	1713
2位	日本大学	1702
3位	慶應義塾大学	1687

R3PM

1位	関口 慈英（明治大学）	447.2	577
2位	長屋 光珀（明治大学）	447.0	581
3位	富岡 亮太（明治大学）	432.3	567
本選通過点数	1位：581	8位：566	

女子総合団体

1位	明治大学	3583.0
2位	日本大学	3576.5
3位	早稲田大学	3541.6

ARW 団体

1位	明治大学	1869.0
2位	日本大学	1853.5
3位	立命館大学	1851.7

ARW

1位	野畑 美咲（明治大学）	254.2	627.3
2位	泰地 陽詩（明治大学）	250.1	624.8
3位	村田 薫美（同志社大学）	227.9	622.8
本選通過点数	1位：627.3	8位：621.8	

R3PW 団体

1位	日本大学	1723
2位	明治大学	1714
3位	早稲田大学	1709

R3PW

1位	野畑 美咲（明治大学）	457.3	588
2位	長坂 夢（日本大学）	453.7	572
3位	郡 夢衣（日本大学）	442.7	578
本選通過点数	1位：588	8位：570	

RPRMW

1位	木暮 裕菜（日本大学）	621.4
2位	野畑 美咲（明治大学）	619.3
3位	関口 慈英（明治大学）	618.9

APM

1位	中山 惇之丞（岡山商科大学）	577
2位	只野 奏大（同志社大学）	565
3位	森田 馨介（関西学院大学）	564

APW

1位	阿部 朱里（岡山商科大学）	553
2位	青野 小春（明治大学）	547
3位	東 晴七（同志社大学）	545



R3PMファイナル後表彰にて
 （左から長屋/明治、関口/明治、富岡/明治）



ARMファイナル後表彰にて
 （左から戸田/岡山商科、高岡/明治、田口/東洋）



ARWファイナルにおいて日本記録を更新した
 野畑美咲選手（写真は本選）



RPRMW



男女とも総合団体を制した明治大学

Athlete Voice

野畑 美咲 選手

先輩方がつないでくださった男女総合優勝のバトンを、今年もつなぐことができ、たいへん嬉しく思います。個人としても今大会の目標を達成し、AR60W決勝では日本新記録を樹立することができました。これまでの努力が実を結んだと感じます。今後の明治大学体育会射撃部のさらなる活躍を心より願っております。

長屋 光珀 選手

大きな4年生の先輩方の引退となる全日本大会が終了しました。今大会では50m競技でジュニアの日本新を2つ更新するという大きなことを成し遂げることができました。しかし10m競技ではファイナルに出場することが叶わず、50m競技の成績も優勝することができず悔しい結果となりました。来年こそは優勝できるようこれからも頑張りたいと思います。

最後にはなりませんが、自分がここまで来れたのはいつでもよい環境をつくってくれた家族や、共に高め合える友だちや仲間がいたからです。本当にありがとうございました。これからも明治大学として強い射撃ができるよう努力致しますので、応援よろしくをお願いします。

木暮 裕菜 選手

ARWとR3PWでは悔しい結果となりましたが、後がないと思い臨んだP60ではジュニア日本記録を更新することができました。迷いや不安もありましたが、これまでの悔しさを思い出し、最後まで射撃と向き合えたと思います。ようやく次のスタートラインに立てたので、ここからさらに成長していきたいです。

総評

10月とは思えない寒さのなかではありましたが、大きな天候不良に見舞われることもなく良好な環境下で、栃木射撃場2年ぶりのインカレを開催することができました。

今大会では日本記録が1件・ジュニア日本新記録が5件、大会新記録が3件樹立され、学生射撃界全体の競技力

向上が着実に示された結果となりました。特にARWファイナルでの野畑美咲選手の日本記録更新は、会場全体に大きなよめきを巻き起こしました。今大会での取り組みが選手それぞれにとってよい刺激となったことを願ってやみません。

創設から
満100年
を迎えた日本学生
射撃スポーツ連盟

学生射撃の黎明と 復活へのあゆみ

昭和14年頃の1枚



学生射撃の歴史は古く、大正時代に遡る。射撃部主催による第1回関東学生大会が開催される。参加資格は大学・専門学校以上の学生で、服装は正服正帽。場所は東京府赤羽袋

大正13年（1924）11月3日、明治大学

村にある陸軍工兵大隊射撃場で、現在のナショナルトレーニングセンターのほど近くであったと思われる。参加校は明治大学を含む10校。このときに明治大学から「学生射撃連盟」設立が提唱され、その方針が取り決められた。翌大正14年（1925）、明治大学、東京帝国大学、早稲田大学、日本医学専門学校、政法大学、東京商科大学、東京高等商船学校、慶應義塾大学などにより「学生射撃連盟」が結成された。

しかしながら太平洋戦争により、学連の活動は一時休止を余儀なくされる。

復活に際し、協会史には次のような記述が協会史に残っている。

『昭和20年10月、私が終戦により豊橋から帰還して小石川の本部（戦前の大日本射撃協会のことであって、現在の室内射撃場が本部事務所であった）を見に行ったときは、付近は一带焼け野原、となりの牛天神も前のお屋敷も！（中略）そんな状態の本部に（すでに実体はなくなっていたが）、ひと月たち、ふた月たつと

ポツリポツリと前のメンバーが集まるようになった。話をしているうちに、グループの再建と土地、建物、トンネル射場の確保を急がなければ、ということになり、まもなく「財団法人日本学生文化協会」を設立し、これに射撃協会の全財産を委譲したのである。後継団体ができたというものの、もともとは射撃人である。どうしても射撃をしたくてしょうがないのである』（学生射撃復活の前後／芹沢新平）

こうした先人たちの熱い想いと尽力により、昭和28年（1953）、「日本学生ライフル射撃連盟」が再結成されたのである。

なお現在、学生大会の中心となっているインカレこと「全日本学生射撃大会」が始まったのは、学連が復活した翌年の昭和29年（1954年）のことになる。

（参照／日本ライフル射撃協会史）

学連の初代会長・山川健次郎男爵による学連設立の趣意書（要約抜粋）

その国の将来を決めるのは若い世代である。だからこそ学生は、学業に励み、人格や健康、規律を日頃から磨くことが欠かせない。特に、射撃に取り組む者は、勇気や冷静さ、節度を身につけ、積極的に訓練に励むべきである。こうした考えのもと、学生は協力して射撃連盟を設立した。自ら模範となり、社会の発展に力を尽くしていこう。

全日本スポーツ射撃競技選手権大会(25m) 兼強化指定選手選考記録会

開催地：自衛隊体育学校射撃場（埼玉県朝霞市）
日時：12月8日（月）～11日（木）
報告者：佐橋 朋木／選手強化委員長



RFP



SP

RESULTS

RFP

1位	久松 慶太（神奈川県警察）	565-9x	29
2位	吉岡 大（京都府警察）	582-19x	26
3位	武内 響（自衛隊体育学校）	576-14x	22
本選通過点数	1位：582-19x	6位：561-16x	

STP

1位	久松 慶太（神奈川県警）	561-11x
2位	岩田 泰輝（兵庫県警察）	56012x
3位	関場 裕貴（警視庁）	554-11x

SP

1位	佐々木千鶴（岩手県警察）	581-14x	31
2位	星野 優奈（警視庁）	578-19x	30
3位	山田 聡子（自衛隊体育学校）	575-22x	26
本選通過点数	1位：583-26x	8位：558-6x	



STP

Athlete Voice

ひままつ けいた 久松 慶太 選手

全日本大会というもので優勝したことがなく、頑張っても3位でした。今回初めて優勝することができたこと、また、連覇していた吉岡大さんに勝てたことも嬉しいです。

ただ今回、本選はまったくダメだったので、次回は本選でもファイナルでも1位をとりたいと思っています。

ささきちづる 佐々木千鶴 選手

全日本選手権で2度目の優勝をすることができました。3年ぶりの優勝杯はとても重く、手にしたときの喜びは、一段と大きいものでした。2025年を最高の形で締めくくることができ、感謝と喜びでいっぱい입니다。2026年もさらなる飛躍の年となるよう努力してまいります。



総評

今大会は、自衛隊体育学校の協力のもと朝霞射撃場で開催され、同校の校長も観戦された試合となりました。

神奈川県警の久松慶太選手がラピッドファイアピストル・スタンダードピストルの2冠

獲得という素晴らしい結果をもたらしました。25mピストル女子では、初参加の中川花論選手（自衛隊体育学校）がファイナルに出場するなど、次を担う若手が活躍した大会となりました。

第13回全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会 2025 Japan-Korea Friendly Match

年の瀬も迫った12月20日(土)、21日(日)の2日間、ナショナルトレーニングセンター・イースト射撃場で、日本一の小中学生を決定する「第13回全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会」が開催された。今大会は、韓国・仁川を中心に展開している射撃関連企業の「KSLS」に所属する、12歳以下の少年少女が来日し、大会に特別参加。日韓親善大会となり、参加した選手は戸惑いながらも海外の選手たちとの交流を楽しんでいた。



RESULTS

【ビームライフルの部】

立射 小学生男子の部

優勝 足立 翔空(永森東) 403.0

立射 中学生男子の部

優勝 魚谷 真樹(富田) 413.5

立射 小学生女子の部

優勝 宮地 陽葵(香美私立山田) 394.3

立射 中学生女子の部

優勝 中田 結菜(長崎東) 420.7

【ビームピストルの部】

立射 小学生男子の部

優勝 鈴木 貴大(静岡サレジオ) 329-3x

立射 小学生女子の部

優勝 安藤 蒼花(埼玉大教育学部附属) 339-3x

立射 中学生男子の部

優勝 松本 遥太(長崎東) 365-6x

立射 中学生女子の部

優勝 島田 藍(東長崎) 360-5x

【ビームライフルの部】

自由姿勢 小学生男子の部

優勝 足立 翔空(長崎東) 424.5

自由姿勢 小学生女子の部

優勝 山田ひかり(伏虎義務教育学校) 425.5

【ビームピストルの部】

自由姿勢 小学生男子の部

優勝 和田 怜宝(秋田市立仁井田) 355

自由姿勢 小学生女子の部

優勝 安田 芽生(秋田県港北) 366

【ミックスチームイベントの部】

ビームライフル

優勝 中田 絢菜(長崎大教育学部附属) / 青木 瑠乃(西泊中学)

ビームピストル

優勝 島田 藍(長崎東中学) / 松本 遥太(東長崎中学)

【チームイベント(3人団体)の部】

ビームライフル

優勝 長崎 A (中田 結菜(長崎東中学) 青木 瑠乃(長崎大教育学部附属) 田崎 鈴紗(市立淵中学))

ビームピストル

優勝 長崎 A (松本 遥太(長崎東中学) 島田 藍(東長崎中学) 井村 純(岩屋中学))

ビームライフル自由姿勢

優勝 高知 (片岡 葵唯(昭和小学) 片岡 蘭奈(昭和小学) 宮地 陽葵(山田小学))

【エアライフルの部】

立射 小学生男子の部

優勝 足立 翔空(長森東) 588.7

立射 中学生男子の部

優勝 原國 泰政(東風平) 553.5

立射 中学生女子の部

優勝 向山 悠希(仙台育英学園秀光) 619.6

立射 中学生男女混合ファイナルの部

優勝 向山 悠希(仙台育英学園秀光) 619.6 242.8

【エアピストルの部】

立射 中学生男子の部

優勝 濱田 蒼斗(高知) 520-3x

立射 中学生女子の部

優勝 島田 藍(東長崎) 557-13x

MIX チームの部

優勝 島田 藍(東長崎中学) / 今長 さち(長5中学) 531-11x

立射 中学生男女混合ファイナルの部

優勝 島田 藍(東長崎) 557-13x 230.6

2025 Japan-Korea Friendly Match

ビームピストル 立射 小学生の部

優勝 キム・ジュンヒョク 363-5x

ビームピストル チームイベント(3人団体)

優勝 KOREA A (キム・ジュンヒョク/キム・ガユン/ブ・リョウン)

ビームピストル 自由姿勢 小学生の部

優勝 ブ・リョウン 368-7x

ビームピストル 自由姿勢 チームイベント(3人団体)

優勝 JAPAN&KOREA (A) (ブ・リョウン/安田 芽生/山中陽葵)



ビームピストルと エアピストルを兼ねた、 レーザーエアピストル

「KSLS」は韓国でオリンピック規格のレーザー射撃精密システムを販売している会社。ビームピストルとエアピストルを兼ねた「レーザーエアピストル」を展開しており、仁川の学校現場でもこれを利用して練習しているとか。「ビームピストルからエアピストルへ、スムーズに移行できる」とウーヨンコーチも注目している。韓国選手が強さを発揮しているのは、こんなところにも理由があるのかもしれない。

Athlete Voice

キム・ジュンヒョク 選手

「ピストルを始めて1年になります。今日は銃が違い、引き金を引く感覚などが違うのでとても意義深いと感じましたが、とても楽しかったです。大会が終わった後、ハリポッタースタジオに遊びに行くことになっているので楽しみです」

ブ・リョウン 選手

「ゲームの射撃が好きだったので、ほとんどの射撃もうまくなれそうだなと思って始めました。本格的に始めて1年です。今日はとても楽しくやれました。オリンピックに出場することが夢です」

まつもと はるか 松本 遥太 選手

「ビームピストルミックスのゴールドマッチでは0対10から逆転できたのは、タイムアウトで先生の指導を受け、気持ちの持ち方が変わったからです。韓国の選手と対戦したときは、隣の射座にただで緊張しました。来年は国スポに出られる年齢になるので、長崎県代表として出場して頑張りたいです」

しまだ あい 島田 藍 選手

「小学5年から射撃をやっています。韓国との対戦は貴重な経験でした。自信を持ってやることができよかったです。まずは国スポに出場して優勝し、国際大会にいい結果を残せる選手になりたいです」

第38回全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会 / 第2回全日本パラビームライフル射撃競技選手権大会

開催地：大分県立庄内屋内競技場（大分県）
開催日：10月11日（土）～13日（月）
報告者：天野 愛理 / 日本パラ射撃事務局



集合写真



全日本パラ試合の様子(R6)



全日本パラ(R5) 左から、金尾克、田中亜紀子、木下裕季子



全日本パラビーム試合の様子



全日本パラ集合写真(R6)

上の段 左から
八川綾佑、望月貴裕、関川颯太
下の段 左から
町田宗介、大滝健太郎、渡邊裕介、片山友子



全日本パラ集合写真(P1/P2)

上の段 左から
高野優一、森脇敏夫、山内裕貴、武樋いづみ
下の段 左から
工藤湧士、西彩花、齋藤康弘、長谷部信夫



全日本パラビームBR40F MW 団体戦
左から1位 大阪府立稲スポーツセンター、
2位 神戸市障害者射撃協会、3位 埼玉県
身体障害者ライフル射撃連盟

全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会

RESULTS

ARMW SH1 (共生)

- 1位 八川 綾佑 (大分県) 246.6
- 2位 見好 瑛修 (大分県) 243.2
- 3位 津田 圭達 (大分県) 222.5

R1) ARM SH1

- 1位 望月 貴裕 (パラ射連) 604.3

R2) ARW SH1

- 1位 辻尾 玲奈 (パラ射連) 607.2

R3) ARPRMW SH1

- 1位 辻尾玲奈 (パラ射連) 628.5
- 2位 渡邊 裕介 (パラ射連) 623.5
- 3位 片山 友子 (パラ射連) 617.1

R4) ARMW SH2

- 1位 金尾 克 (パラ射連) 622.4
- 2位 木下裕季子 (パラ射連) 621.9
- 3位 田中亜紀子 (パラ射連) 612.8

R5) ARPRMW SH2

- 1位 田中亜紀子 (パラ射連) 251.9
- 2位 金尾 克 (パラ射連) 251.4
- 3位 木下裕季子 (パラ射連) 227.6

RPRMW SH1 (共生)

- 1位 町田 宗介 (福岡県) 244.6
- 2位 大滝健太郎 (パラ射連) 243.8
- 3位 渡邊 裕介 (パラ射連) 222.2

R6) RPRMW SH1

- 1位 渡邊 裕介 (パラ射連) 609.6
- 2位 望月 貴裕 (パラ射連) 602.9
- 3位 大滝健太郎 (パラ射連) 602.5

R3PW SH1 (共生)

- 1位 毎田 晴彦 (長崎県) 455.4
- 2位 八川 綾佑 (大分県) 441.1
- 3位 望月 貴裕 (パラ射連) 414.5

R7) R3PW SH1

- 1位 望月 貴裕 (パラ射連) 566
- 2位 大滝健太郎 (パラ射連) 477

R9) RPRMW SH2

- 1位 鈴木 努 (パラ射連) 614.5

APMW SH1 (共生)

- 1位 工藤 湧士 (大分県) 226.5
- 2位 西 彩花 (福岡県) 222.6
- 3位 齋藤 康弘 (パラ射連) 202.7

P1) APM SH1

- 1位 齋藤 康弘 (パラ射連) 539
- 2位 森脇 敏夫 (パラ射連) 532
- 3位 長谷部信夫 (パラ射連) 496

P2) APW SH2

- 1位 武樋いづみ (パラ射連) 399

全日本パラビームライフル射撃競技選手権大会

RESULTS

BR60T MW SH1

- 1位 東 宏 (大阪 稲) 627.1
- 2位 黒田 恭亮 (大阪 稲) 605.8
- 3位 森田 耕二 (大阪 長居) 590.7

BR60T MW SH2

- 1位 田島 政貴 (埼玉) 628.8
- 2位 奥山 奈々 (千葉) 614.6
- 3位 岡本 真希 (大阪 長居) 596.3

BR60 MW SH1

- 1位 佐伯龍之介 (神戸) 493.7

BR60 MW SH2

- 1位 田島 政貴 (埼玉) 614.1
- 2位 岡本 真希 (大阪 長居) 605.5

BR40F MW

- 1位 宮城 柚那 (大阪 稲) 425.5
- 2位 高柳 飛鳥 (山形) 424.5
- 3位 東 宏 (大阪 稲) 424.4

BR40F MW 団体戦

- 1位 大阪府立稲スポーツセンター 1,271.3
- 2位 神戸市障害者射撃協会 1,251.2
- 3位 埼玉県身体障害者ライフル射撃連盟 1,227.9

BP60 MW SH1

- 1位 森脇 敏夫 (埼玉) 527点
- 2位 齋藤 康弘 (埼玉) 517点
- 3位 佐久間脩平 (大阪 稲) 493点

Athlete Voice

田中 亜紀子 選手

素晴らしい大会に出場させていただき、優勝という形で終わることができたことをたいへん光栄に思います。日頃から支えてくださるコーチのみなさま、対戦していたみなさま、練習に協力して下さる射撃場のみなさまのおかげです。

パラスポーツ射撃は一人では練習も難しく、準備もたいへんな競技です。そのような競技の大会を開催していただきました主催者のみなさま、ボランティアのみなさま、応援に来ていただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。

工藤 湧士 選手

今回運営側としても参加させていただきましたが、パラ競技ならではの厳格なルールや、試合中のコーチとの綿密な連携が印象的でした。

パラ競技は障がいの程度に応じたクラス分けがありますが、共生大会として実施された今大会でも、選手一人ひとりが高い技術と精神力を発揮して競技に臨む姿に深く感動しました。この大会を通して、より多くの方にパラ競技の奥深さと魅力を知ってもらいたいと感じました。

両大会総評

今年は、大分県にて全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会、全日本パラビームライフル射撃競技選手権大会を開催することができました。今回もオリンピック（健常）選手にご参加いただき、互いに刺激を受けながら競い合う貴重な機会となりました。また、日本新記録（パラ）を樹立した選手が3名（全日本で2名、ビームで1名）誕生するなど、選手一人ひとりの確かな成長が感じられる大会となりました。今後も取り組みをさらに広げながら、パラ射撃の魅力をより多くの方に伝えとともに、競技力の向上と選手育成に努めてまいります。

2025年WSPSワールドカップ(アルアイン)

開催地：アラブ首長国連邦、アル・アイン
 開催日：10月25日～11月5日
 報告者：田中 辰美/パラ射撃HPD



R3団体銅メダル表彰
 向かって左から、岡田和也、片山友子、渡邊裕介
 (片山敬介氏撮影)



選手集合(片山敬介氏撮影)



水田光夏



R5ファイナル この時点で生き残る6名中4名が10.9点を撃っている



10m射撃場

岡田和也

RESULTS

R3 AR 伏射混合 SH1

1位	マレノフスキー・ラドスラフ (SVK)	633.9	253.2
2位	ファンアントニオ・サアベドラ・レイナルド (ESP)	636.5	252.4
3位	ペンソン・アンナ (SWE)	631.4	230.5
8位	岡田 和也 (サイネオス・ヘルス・ジャパン)	631.6	124.4
本選通過点数	1位: 636.5	8位: 631.4	
25位	渡邊 裕介 (渡辺石炭)	625.2	
33位	片山 友子 (ベリサーブ)	622.2	

団体戦

1位	中国 (シエ、チェン/シエ)	1895.5
2位	タイ (アルマット/インタノン/ルンウィライ)	1885.5
3位	日本 (岡田/渡邊/片山)	1879.0

R4 AR 立射混合 SH2

1位	コックビル・ライアン (GBR)	630.6	254.2
2位	アルメハイリ・アイシャ (UAE)	626.0	252.2
3位	ジョンソン・マイケル (NZL)	631.8	230.9
本選通過点数	1位: 631.8	8位: 626.0	
31位	鈴木 努 (EY Japan)	612.3	

R5 AR 伏射混合 SH2

1位	コックビル・ライアン (GBR)	637.6	255.3
2位	チャイチャムナン・アヌン (THA)	636.8	255.2
3位	ガルガニ・アレシャンドレアウグスト (BRA)	639.6	234.0
6位	水田 光夏 (白寿生科学研究所)	635.2	167.2
本選通過点数	1位: 639.6	8位: 634.6	
37位	古賀 貴裕 (LINE ヤフー)	624.2	
42位	鈴木 努 (EY Japan)	608.2	
44位	池内 数哉 (イケウチ)	605.5	

R6 R 伏射混合 SH1

1位	インタノン・アティデット (THA)	619.8	250.0
2位	ファンアントニオ・サアベドラ・レイナルド (ESP)	624.3	248.4
3位	ルッジェラ・ランドン・ケネス (USA)	619.3	225.4
本選通過点数	1位: 624.3	8位: 613.3	
16位	渡邊 裕介 (渡辺石炭)	609.0	
17位	岡田 和也 (サイネオス・ヘルス・ジャパン)	608.4	
25位	片山 友子 (ベリサーブ)	601.8	

団体戦

1位	タイ (ザッペリ/スミス/ブライドン)	1827.6
2位	アメリカ (ジャクソン/ルッジェラ/ハッチクラフト)	1825.1
3位	UAE (アルヌアイミ/アラヤニ/アルダフマニ)	1824.6
5位	日本 (岡田/片山/渡邊)	1797.0

※団体戦成績は予選の結果による。

R9 R 伏射混合 SH2

1位	マリナ・アブドゥリナ (NPA)	616.0	248.9
2位	パク・スンウー (KOR)	631.5	248.3
3位	ソ・フンテ (KOR)	623.0	228.1
本選通過点数	1位: 626.3	8位: 619.2	
11位	鈴木 努 (EY Japan)	615.0	※日本新記録

P1 AP 男子 SH1

1位	マニッシュ・ナルワル (IND)	571	239.1
2位	シン・アングレージ (IND)	566	233.9
3位	ゼイナロフ・カムラン (AZE)	564	215.0
本選通過点数	1位: 571	8位: 563	
21位	齋藤 康弘 (神奈川県庁)	544	
27位	森脇 敏夫 (日本コンベンションサービス)	532	

P2 AP 女子 SH1

1位	シャービ・サマクフーン・ナスリン (IRI)	573	239.0
2位	シャルマ・バクティ (IND)	562	236.8
3位	アフマディ・ファーズ (IRI)	561	215.6
本選通過点数	1位: 573	8位: 561	
26位	武樋いづみ (高知県)	482	

P6 AP MIX SH1

1位	インド 2 (アロラ/カandelワル)	563	17
2位	イラン 2 (アフマディ/ミールシャフィエイ)	564	9
3位	カザフスタン (エルマコフ/アリエフ)	553	17
12位	日本 (武樋/齋藤)	486	

Athlete Voice

片山 友子 選手

アルアイン WC 2回目の出場で団体戦の銅メダルを獲得でき、たいへん嬉しく思っています。大会中は試合のことで一杯いっぱいでしたが、メダルを改めて見て、監督、コーチ、トレーナー、同行者、選手が丸となって尽力してくださったおかげだと強く実感しました。日本からの温かい応援も大きな励みになりました。岡田和也選手、渡邊裕介選手、表彰台へ連れていただき本当に感謝しています！ みなさまありがとうございます。

鈴木 努 選手

R4、R5、R9と3種目に出場させていただきました。エア2種目ではPETまでは好調だっただけに本選では期待に添える成績ではなく申しわけない気持ちでいっぱいです。R9では全日本パラに続き日本記録を更新と、またR6を含めたSB種目を日本人トップの成績で大会を締めることができ、嬉しく思います。今回の試合でファイナルに残れる点数を、身をもって感じる事ができたので、目標を明確に定めて練習していこうと思います。

齋藤 康弘 選手

アラブ首長国連邦のアルアインという街で開催の射撃のワールドカップ大会に出場してきた。年間を通して快晴らしく、確かに雲一つない空だった。射撃をしていなければ、たぶん、生涯で一度も行かない場所だと思うので、改めて射撃というものに感謝したい。
 肝心の競技のほうはというと、結果は出せなかったが、得た物はたくさんある。結果が出せず悔しい思いが強いが、心のなかはアルアインの空のように晴れ晴れしていた。

総評

アルアインは2017年以降毎年WSPSの大会開催を引き受けて来ています。新型コロナウイルスで翌年に延期になった末に実施されなかった2021年大会を除き、2023年世界選手権をはさんで今回が6回目のワールドカップ開催でした。パラ射撃関係者にはすっかり馴染み深い射撃場の一つとなりました。

会場のAl Ain Equestrian, Shooting & Golf Club 射撃場は、ドバイから南に車で2時間のアルアインにあります。50mと10mの射座数各40と全世界から参加者を集める大会の射撃場としては小ぶりです。射場内に段差があるのが難ですが、50mと25m(ファイナル兼用)射場と10m射場とが背中合わせになっていて、コンパクトでその点ではパラ射撃に適した射撃場です。

今大会には、わが国からライフルSH1クラス3名、ライフルSH2クラス4名およびピストル3名の計10名の選手がエントリーし、スタッフ7名を合わせ、17名の選手団となりました。今大会の述

ベントリー数は417エントリーで、今年5月のチャンピオン大会の392エントリーを若干上回った程度ですが、参加国はチャンピオン大会の24ヶ国から37ヶ国へとほぼ倍増です。

R3で岡田和也選手が本選631.6点3位でファイナル進出し、7位に入賞しました。R5で水田光夏選手が6位に入賞しました。団体戦は、岡田和也、渡邊裕介、片山友子の3名でR3とR6に参加しました。R3団体戦で中国、タイに次ぐ3位となり、チャンピオン大会での銀メダルに続き、銅メダルを獲得しました。

今大会では参加国数は増えていたものの、中国は大量に新人選手にクラス分けを受検させ、韓国は国内大会のスケジュールの関係で参加していません。各国とも、ロス大会の出場枠配分が始まる今年2026年の世界選手権・チャンピオン大会をはじめとする各大会に照準を合わせる構えと思われます。日本も2028年ロスでメダルを獲得することを目指して、前進していきます。今後とも、ご声援よろしくお願いいたします。

2025年度最後の未来のオリンピックは、昨年の滋賀国民スポーツ大会（国スポ）チームピストル少年女子60発で、並み居る高校生を倒して優勝した中学生・山崎心寧選手と、全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会エアライフル40発競技ファイナリスト、菅波美結選手、そして現在、強化指定選手ジュニアに選ばれている長屋光珀選手。現在進行形でメキメキ力を伸ばしている3人です。

憧れの姉に追いつき追い越し、 オリンピックを目指したい

やまさき
山崎

ここね
心寧
（高知中学3年）



5つ上の姉が射撃をやっている姿を見て「かっこいいな」と思い、中学で迷わず射撃部に入りました。

私が通う中学には射撃場があります。練習は月曜日がお休みで、平日は放課後3時間くらい。土日は県の施設で朝の9時半から夕方4時くらいまで、1日練習しています。中学で射撃をやっているのは珍しいので、射撃部に入っていると、よく「かっこいいね」と言われます。

試合では対戦相手はつねに年上ばかり。滋賀国スポでも出場したチームピストル60発競技はほとんど高校生でした。そのなかで優勝できたことは嬉しかったですね。でも、試合中は緊張して震えが止まらず、たいへんでした。

すでにエアピストルの練習も始めていて、いまはチームとエア、どちらも練習しています。ただ、エアに関してはいま、

少し怖さを感じています。引き金を引くタイミングがズレてしまい、一度、天井を撃っちゃったことがあるんです（苦笑）。エアは的を外すとまったく意図しないところを撃ってしまうことを身をもって体験し、怖くなってしまったのです。でも、この反動があるところがエアの魅力でもあると思っています。

現在の課題は、撃つのが遅いので、速く撃てるようにすること。また、撃つときに首が傾くクセがあるので、姉にアドバイスをもらいながら筋力をつけるためのトレーニングもしています。

目指す射撃スタイルは、まっすぐな姿勢で完璧に撃つこと。そしてリズムよく。まもなく高校生になりますが、国スポ連覇と、姉も参加した東アジアユースへの出場が目標です。将来的にはやっぱりオリンピックを目指したいです。



オリンピックに出ている私を 応援してくれる祖父に見せたい

すがなみ
菅波

みゆう
美結
（国際学院高校2年）



射撃との出会いは、埼玉県のジュニアアスリートを育成する事業『プラチナキッズ』です。射撃はいくつか体験したなかの一つで、「この競技、面白いな」と思いました。このプラチナキッズは小学6年生までで、中学生になると『プラチナジュニア』に変わります。ここに入るために選抜テストを受ける必要がありました。中学ではテニス部に入ってしまった。中学ではテニス部に入ったものの、やっぱり射撃をやってみたくて、もう一度受験。今度は無事に合格し、中学2年生から本格的に射撃をスタート。学校ではテニス、プラチナジュニアでは射撃、と中学時代は二つの競技に取り組みました。

高校進学は、迷うことなく射撃で決まりました。1年生の頃は射撃未経験者が多いなか、プラチナ出身ということプレッシャーを感じていました。2

未来の OLYMPIAN オリンピックたち

連載 第10回

～射撃競技の明日を担う～

誰にも負けないことを目指して いつか夢の舞台へ

ながや
長屋

こはく
光珀
(明治大学2年)



「高校からスタートしても経験者に追いつくことができるし、有名な大学に進学する先輩もいる。目指してみたらいいんじゃないか」

高校に入学してまもなく、担任の先生にこう言われたことが、射撃を始めるとききっかけでした。もともと射撃系のゲームが好きだったこともあり、始めてすぐにその面白さにどっぷりハマりました。

といっても、最初からすぐに結果が出たわけではありません。練習では結構高い点数を出すことができるのに、試合になると点が伸びない。同じスタートラインだった同級生が全国に行くのに、自分はいけないという状況で、一時はやめようかと考えたこともありましたが、でも、どこかで自分は必ず成し遂げられるという思いがあり、それを信じて続けました。

その状況から抜け出したのは2年生になってから。ようやく安定して点数を出すことができるようになり、夏の全国大会チームライフルで優勝することができました。そこから、「やっぱり自分是可以する」という自信になり、家族も喜んでくれたので、頑張ろうという気持ちが強くなりました。

射撃は勝っても負けても自分のせいだというところが自分にとっての魅力です。明治大学には強い先輩、そして射撃に対する熱い思いがあります。そのなかに身を置くことに、気持ちよさを感じていますし、この熱に置いていかれるたくない、と日々努力しています。

目標はオリンピックというか、まずは誰にも負けないこと。勝ち続けることを目指していけば、自然に辿り着けると思っています。



年になると同級生のレベルも上がってプレッシャーを1年のときよりも感じず、自分と向き合うことに集中できるようにになりました。その結果、全国大会で初めてファイナルに上がり、4位となりました。自分ではファイナルに進めると思っていたいなかったので嬉しかったですし、あと一步のところまで3位以内に入れたかったので悔しい気持ちもありました。

祖父からは「美結がオリンピックに出るところを見たい」と言われていますが、祖父を含めた家族、学校の先生など、いつも支えてくれる方たちがいるからこそ、私は射撃を続けることができます。この方たちへの感謝を表すことができますのは、やっぱり実績を残すこと。いい成績を出して、いつかオリンピックに出場したいです。





栄養の
みいうえみ
VOL.4

冬の時期は、「我慢」よりも「選ぶ」食事を

昨年は勉強尽くしの日々にも慣れ、新たな学びも日常生活に落とし込めるようになった1年でした。新しい年を迎え、今年も美味しいものを食べながら、大学での学びを大切に、射撃競技に特化した勉強や研究ができるよう、一歩ずつ成長していきたいと思えます。

さて、冬の練習が続くと、「なんだかいつもよりお腹が空く」と感じることはありませんか。

射撃でのエネルギー消費に加え、寒さによって体温を保とうとすることで基礎代謝が上がり、冬は自然と食欲が増しやすくなります。

また、日照時間が短くなることで、気分を安定させるホルモンの分泌が減少し、甘いものや炭水化物を欲しやすくなるともいわれています。冬に食べたくなるのは、体がきちんと働いているサインでもあるのです。ただ、食べたいものを何も考えずに食べてしまうと、練習中に体を重く感じたり、集中力が落ちたりすること

があります。だからこそ、冬は「我慢」よりも「選ぶ」食事が大切になります。そこでおすすめしたいのが、「おでん」と「鍋」です。どちらも温かく、体を内側から温めることで血流がよくなり、筋肉の緊張が和らぎます。冷え対策は、射撃における体調管理の基本でもあります。

おでん編：やさしく整える食事

油をほとんど使わず、だして煮込むため消化に優しいのが特徴です。練習後や試合前日でもとり入れやすく、体調が不安定なときの強い味方になります。

おすすめの具

- ・大根 消化を助ける酵素が含まれ、胃腸にやさしい食材。だしを吸っているため、水分補給にもなります。
- ・玉子 良質なたんぱく質が含まれ、筋肉の回復をサポートします。

- ・こんにゃく 食物繊維が腸内環境を整え、食べすぎ防止にもなります。
- ・昆布 ミネラルが豊富で、神経の働きや体の調子を整える役割があります。
- ・ロールキャベツ 野菜とたんぱく質が同時にとれ、ビタミンとエネルギーをバランスよく補えます。

控えめにしたい具

- ・餅巾着 エネルギーが高く、食べすぎると消化に時間がかかるため、練習前や試合前日は注意が必要です。
- ・ウインナーなど加工肉 脂質や塩分が多く、むくみや体の重さにつながりやすくなります。
- ・揚げ物系の具 油分が多く、消化に負担がかかるため、体調を崩しやすい冬には控えめが無難です。

鍋編：回復と強化の食事

鍋は、食材の組み合わせ次第で、体づくりにも体調管理にも使える万能な料理です。練習後の疲れた体に必要な栄養をまとめて補給できるのが魅力です。

鍋の具材と効果

- 【たんぱく質】 鶏むね肉：低脂質で筋肉の修復を助けます。
- ・豚肉：ビタミンB1が豊富で疲労回復に有効です。

- ・鮭・タラ：良質な脂質が含まれ、体の修復を支えます。
- ・豆腐：消化がよく、練習後でも安心して食べられます。

【野菜類】

- ・白菜：水分とビタミンを補給できます。
- ・長ネギ：体を温め、免疫力をサポートします。
- ・春菊：鉄分やカルシウムが多く、貧血予防にも役立ちます。
- ・きのこ類：食物繊維が豊富で、腸内環境を整えます。

【プラス食材】

- ・しらたき：低エネルギーで満腹感を得やすく、調整役に便利です。
- ・わかめ：ミネラル補給に。
- ・豆苗：不足しがちなビタミンを補えます。

控えめにしたい具

- ・締めラーメン・雑炊 炭水化物が集中しやすく、とりすぎると体を重く感じやすくなります。
- ・チーズ類 脂質が多く、消化に時間がかかります。

試合・遠征中の「鍋」編

外泊や遠征中は、自炊ができません。事選びに迷うことも多いかと思いますが、そんなときは、「鍋っぽい組み合わせ」を意識して選ぶのがおすすめです。

おすすめセット例

- ① サラダチキン
- ・ カット野菜

- ② おにぎり 焼き鮭
- ・ 野菜サラダ
- ・ 味噌汁
- ↓ 良質な脂質とミネラル補給に。

- ③ 冷ややっこ or 湯豆腐風商品
- ・ 野菜系惣菜
- ・ スープ
- ↓ 胃にやさしく、試合前日にも安心です。

④ 間食版

- ・ ゆで卵
- ・ ナッツ少量
- ・ ホットドリンク（無糖系）
- ↓ 小腹対策に◎

「鍋」編のポイント

- ・ 「温かいもの」を必ず一品入れる
- ・ たんぱく質を必ず確保する
- ・ 甘い飲み物は控えめに
- ・ 揚げ物は連続させない



豆腐と豆乳でたんぱく質を補い、白菜やきのこで食物繊維もしっかりとれる豆乳坦々風鍋です。豆乳ベースなのでやさしい味で、ボリュームもありピリ辛のおかげで体もほかほかになりました！他の食材を入れても美味しいと思います！

ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう！

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は3.0kgと軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



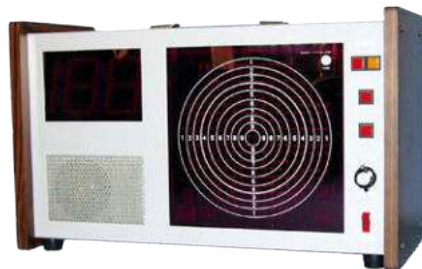
ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、 balanサー付の競技者向けのモデルです。

ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔製造・発売元〕

=KOTO= 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

http://www.kohto.co.jp E-mail: info@kohto.co.jp



NEWS BOARD

2026

JANUARY

2025年度、 体験会・教室は 予約がとれない ほどの 大人気イベントに

スポーツ射撃の魅力を広く体験していただく、「チームライフル・ピストル」スポーツ射撃体験会。

昨年6月の日本オリンピックコミューニティでの開催を皮切りに、2025年度も6回の体験会・教室を開催しました。今年度はあと一回予定しています。

毎年スポーツの日にナショナルトレーニングセンターで行なわれる「スポーツ祭り」(10月13日)では、パリ2024オリンピック代表の岡田直也選手、吉岡大選手、野畑美咲選手他がゲスト講師として登場。現役選手から直接指導を受けられる貴重な機会に、子どもたちは大いに盛り上がりました。講師となった選手からも、「初めてやる子どもたちにとって難しい競技だったと思いますが、うまく当てて、楽しんでいただけて嬉しかったです」(岡田選手)

「射撃は点数競技であり、自分と向き合うスポーツ。特にメンタルが点数に直結する点は、ほかの競技にはあまり見られない特徴です。今日の体験を通じて、みなさんがもっと射撃を好きになってくれたら嬉しいです」(野畑選手)

「マイナー競技である射撃を知ってもらい、将来のアスリートに憧れてもらえれば嬉しい。今後もこのような体験会があれば、ぜひ参加させていたきたい」と、参加者との触れ合いを喜ぶ声が寄せられました。



「紙風船エクササイズ」を参加者と一緒に、吉岡選手



ピストルはどうか？相澤選手

さらに昨年、「関西万博」内で行なわれたイベント『ENJOY SPORTS EXPO』(10月5日)でも、和歌山県ライフル射撃協会が中心となって体験会を開催。会場にはなんと440名もの参加者が訪れ、大盛況となりました。

体験会・教室は、小学生からシニアまで、誰でも参加できるイベントとして、近頃、予約がとれないほどの人気を博しています。来年度も実施を予定していますので、ぜひ、射撃を知らない方にお声がけいただき、本事業をご紹介ください。



さすが万博 長蛇の列、当たり前

英語表記の説明パネル



体験会の模様

ENEOSの支援のもと、 体験会は新たな形式へ

『あらゆる人へのスポーツ機会の創出』『次世代育成を通じた、心身ともに健全な社会づくり』『安心安全にスポーツに取り組める環境づくり』

3つの大きな柱を目的に、積極的に社会貢献に取り組んでいるENEOS。射撃界が掲げる『共生スポーツ』とも重なり、体験イベントには毎年ご協力いただいています。

今年度も3回の開催が予定しており、すでに終了した特別支援学校での体験会では、「みんなのスポーツ射撃体験〜できる〜が未来を広げる、共生スポーツの可能性〜」がテーマ。参加してくれた子どもたちには、た

くさんの“できた”“当たった”を体験してもらいました。

さらに新たな取り組みとして、3月に『チームみらいステージ』と題したオンライン形式での体験会を実施する予定です。ネットをつなぐことで地域、年齢、経験の差を超え、誰でも気軽に挑戦できる仕組みです。東京をはじめ拠点会場を設置し、一度体験したけれど、その後挑戦する機会がなかった方々にも、再び触れていただく場を提供します。

この体験会の模様は次号で報告いたします。ご期待ください。

発行月が変わります！

小誌はこれまで4月、7月、10月、翌年1月の年4回発行してきました。2026年度からは回数は変わりませんが、5月、8月、11月、翌2月

に発行月が変わります。より会員のみなさまに寄り添った内容になるよう努力していきます。どうぞご期待ください。

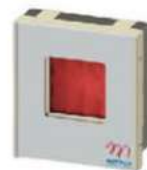


■Meyton(マイトン)電子標的システム



測定精度1/10mmを実現した
世界最高精度のシステム

192本の赤外線レーザーが交差することで全ての測定範囲において
1/10 mmの測定精度と
1/100mmの分解能を実現
し比類なき精度を実現。



Meyton(マイトン)電子標的 導入射撃場 (順不同) :

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m,50m)、福井県立ライフル射撃場(10m,50m)、宮城県ライフル射撃場(10m,50m)、神奈川県立伊勢原射撃場(10m,50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、茨城県営ライフル射撃場(10m,50m)、長野県中尾山射撃場(10m,50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m,50m)、荒川区総合スポーツセンター(10m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(10m,50m)、日本大学(10m,50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入

※メンテナンス (導入: 國友銃砲火薬店様): 大阪府能勢町ライフル射撃場(10m,50m)、同志社大学(10m,50m)
國友銃砲火薬店様設置他射場につきましてもメンテナンスを行いますのでお気軽にお問い合わせください。

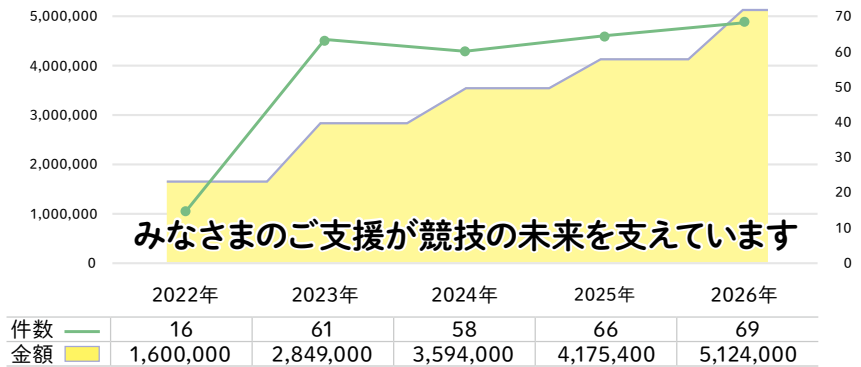
有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社 / Noptel社 / Mantis社 / HoRa社 輸入代理店

ふるさと納税制度を活用した寄附協力のお願い

本制度は2021年から開始し、本年度で5年目となります。会員のみなさまならびに関係各位のご支援により、着実に寄附実績を積み重ねてまいりました。心より御礼申し上げます。



制度の仕組み

国民が必ず行なう「納税」の一部を、新宿区（日本ライフル射撃協会所在地）のふるさと納税「ふるさと新宿区わがまち応援寄附制度」を通じて実施します。

◎応援先として日本ライフル射撃協会を指定して納付いただく…

- ・約 35%が日本ライフル射撃協会へ
- ・約 35%が加盟団体（寄附者指定）へ



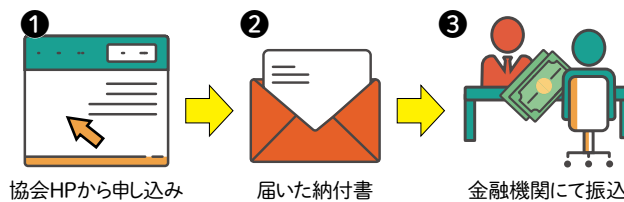
受付期間と方法

●加盟団体へのご支援をご希望の場合

日本ライフル射撃協会ふるさと納税ページから簡単にお手続きいただけます。

後日、納付書が届きましたら金融機関窓口にてお振込みください。

加盟団体を指定して支援



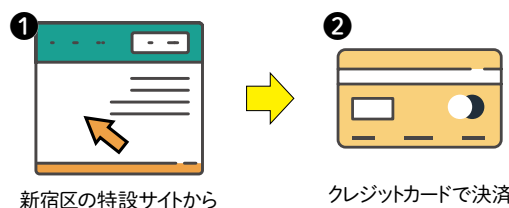
日本ライフル射撃協会ふるさと納税ページ
https://www.riflesports.jp/furusato_tax_info/



●日本ライフル射撃協会へのみのご支援の場合

日本ライフル射撃協会の所在地である新宿区の特設ページから、クレジットカード決済で簡単にお手続きいただけます。

日本ライフル射撃協会のみを支援



新宿区ふるさと納税特設サイト
「ふるさと新宿区わがまち応援寄附金ページ」
<https://furusato-shinjuku.jp/wagamachi/>



ご協力をお願い

協会の事業活動を支える資金は、会員数の減少や交付金等の収入減少により厳しい状況が続いています。みなさまのご支援により寄附実績は着実に伸びておりますが、ライフル射撃競技の普及・育成活動、そして全国の加盟団体への支援を継続するために、引き続き本制度を通じてご協力をお願い申し上げます。

活動実績報告

みなさまからのご支援により実施した事業活動については、定期的に広報誌『ライフルスポーツ』や日本ライフル射撃協会公式ホームページを通じて報告してまいります。



CONTENTS

新春特集

Play Back わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025
～湖国の感動 未来へつなく…………… P4

新年の挨拶 橋本 聖子 日本ライフル射撃協会会長…………… P3

東京2025デフリンピック、閉幕
日本代表、デフリンピック射撃界に確かな一歩を刻む…………… P18

連載

射手の美学 ～その活躍には理由がある
高桑 昭紀(ライフル)…………… P14
福島實智子(ピストル)…………… P16
大会レポート…………… P20
未来のOlympianたち 連載第10回…………… P32
にしだあおいの栄養のあいうえお…………… P34
ライスボNEWS BOARD…………… P36
射撃人 高橋 信吾 常務理事…………… P39

〈お詫びと訂正〉

ライスボ秋号(no470)におきまして、下記の誤りがありましたので、訂正させていただきます。

- P19 大会レポート Athlete Voice内
(誤) 花川 直樹 (正) 花川 直樹
- P21 日本新記録内
(誤) 城西高校A(堀江ここ菜・阿部有紗) 本選(パート1) 633.4点
大分A(秋吉柚奈・泰鳳真路) 本選(パート1) 630.5点
(正) 大分A(秋吉柚奈・泰鳳真路) 本選(パート1) 630.5点
- P22 BRM記録及び Athlete Voice内
(誤) 陸 勝字 (正) 陸 勝宇
- P36 NEWS BOARD 計報
(誤) 清水 寛(しおみず・ひろし) (正) 清水 寛(しみず・ひろし)

関係者のみなさま、会員のみなさまにご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

今月の表紙

日々の鍛錬が感じられる木製のグリップと、メタリックが放つ鋭さと冷たさ。ここから標的に向けて放たれた一発は、その日々の結集。今年の大会はそんな射手の想いを感じながら、試合を観戦したいと思う。
(銃/佐藤 琳、写真/谷川 諒)

ライフルスポーツ 冬 2026 471 JANUARY

発行：公益社団法人日本ライフル射撃協会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
TEL 03-6721-0792 FAX 03-6721-0793
Http://www.riflesports.jp/
Email : rifle@riflesports.jp
発行人：橋本 聖子
編集：総務委員会広報部会、78works
デザイン・印刷：明宏印刷株式会社
※ 本誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。
記載記事、写真などの無断転載はお断りいたします。

取材に関しましては下記までご連絡ください。
E mail : shuzai@riflesports.jp
次号は2026年5月15日発行予定です。

射撃人

～ Shooting for All, All for Shooting ～



巡目となる1988年開催の京都国体に向け、園部町(現京都府南丹市)に新たな射撃場が開設され、八瀬射

撃場の存続の是非が問われた時期がありました。京都の大学射撃部、一般会員の利便性に鑑み、存続することになりました。その後、2000年に園部町の射撃場は町側の意向で閉鎖され、現在は温泉施設となっております。賛否ありましたが、八瀬射撃場の存続を決定された当時の京都府ライフル射撃協会執行部のご判断に敬意を表します。私自身は1996年から京都八瀬射撃場管理者を拝命。現在に至るまで、雪の重みや倒木で設備が破損することがしばしばありましたが、協会員のみならずの協力により切り抜けることができました。

1978年大学入学と同時に射撃部に入部。その夏に空気銃(フライングバウ300S)を所持してから47年の歳月が流れました。現在65歳、いままでの人生の4分の3近くをライフル射撃と何らかの関わりを持ちながら過ごしてきたこととなります。この間、輝かしい成績を収めるわけでも素晴らしい後進を育てるわけでもなく、「ぼーっと」した射撃人生を過ごしてきました。そんな私の射撃人生でいつも私とともにあったのが、京都八瀬射撃場です。

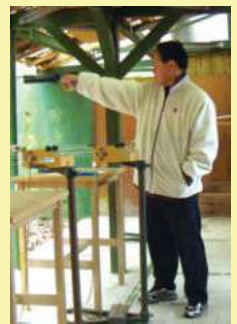
私が射撃を始めた頃は、京都の4大学の射撃部が八瀬で毎週水曜・土曜に全体練習を行ない、射座は取り合いの状態でした。現在では学内に射撃場を設置する大学が増え、かつての賑わいはなくなりました。射撃場開設からすでに73年。試合になると突然動かなくなる50m交換機のご機嫌をとり、ラインが破損する10m交換機の面倒を見つづ、これからもこの射撃場のお世話になりたいと思っております。

協会理事としての活動に絡めてこのコラムを書くかと思っておりましたが、書き出してみると私の「八瀬愛」が表面に溢れ出て、このような原稿になってしまいましたこと、ご寛恕願いたく存じます。

協会理事としての活動に絡めてこのコラムを書くかと思っておりましたが、書き出してみると私の「八瀬愛」が表面に溢れ出て、このような原稿になってしまいましたこと、ご寛恕願いたく存じます。

私の射撃人生に寄り添う
京都八瀬射撃場

高橋 信吾 常務理事



MIZUNO
TRAINING



なりたいジブンへ

着るだけで、スイッチが入る。
心に火がついて、
身体を動かさずにはいられなくなる。
走る。飛ぶ。跳ねる。
汗を流すことが、
やがて力になっていく。
本気で戦うその日を目指して。



REACH BEYOND